

美術年報

2002



徳島県美術家協会

目 次

はじめに	徳島県美術家協会長 佐野 比呂志	1	
徳島県美術家協会規約		3	
平成12年度事業報告		4	
役員名簿(平成13・14年度)		7	
徳島県美術展開催運営要項		13	
第56回県展記録		17	
第56回県美術展出品・入選等状況		25	
徳島県美術展審査員一覧		26	
第10回放美展記録		30	
各部記録（平成13年度）			
・日本画部	部会長 西野 和男	36	
・洋画部	部会長 棚田 務	39	
・写真部	部会長 櫛渕 魏	48	
・彫刻部	部会長 松永 勉	53	
・美術工芸部	部会長 山上 馨	56	
・書道部	部会長 上田 溪水	60	
・デザイン部	部会長 坂本三千一	65	
会員名簿			
・日本画部	73	・美術工芸部	82
・洋画部	74	・書道部	84
・写真部	78	・デザイン部	96
・彫刻部	82		
第56回徳島県美術展（県展）公募規定		97	
第56回県美術展特別・招待・無鑑査・贊助出品者名		98	

あとがき

はじめに

第10回放美展が春の公募展として、平成13年5月2日（水）から6日（日）までの5日間、県郷土文化会館で開催された。本年は10回ということで、各部門の入選以上の方の中から最少年齢の方に特別賞が贈られた。放美賞7点、優秀賞46点と入選515点の計568点（特別賞7点を含む）と審査員、運営委員、無鑑査、県美協役員の無審査作品58点を加え、総数626点が展示された。観覧者も本年は過去最高となった。県民の期待も大きくなってきたことは、県美術界にとっても大変喜ばしいことであり、2002年も更に飛躍することを願っている。

第56回県美術展は第1期が11月8日（木）から15日（木）まで、写真、書道の2部門で、第2期が11月17日（土）から25日（日）まで、日本画、洋画、彫刻、美術工芸、デザインの5部門で、県郷土文化会館で開催された。今回は21世紀はじめての年であるので、各部門の奨励賞以上の方の中から最少年齢の方に新世紀賞が贈られた。作品の応募数は昨年より29点多い2,475点あり、審査の結果814点の入賞・入選が決まった。県展も56回を重ね内容も年々充実してきており、各部門の審査員も等しく、技術と現代性を兼ね、実験性も高く、確かな将来性をもっているなどと高く評価されていた。県内作家の方も充分自信を持って、個性的でしかも美的感性をますます高揚していきたいものである。このように出品者の方々が、多くの中央展以上に厳選である県展に臆することなく挑戦しつづける情熱と真摯な努力には心から深い感謝と敬意を表したい。

各部門の活動や関係団体、協会員の活動も例年に劣らず活発であった。特に恒例の徳島彫刻集団の野外彫刻展は39回を重ね、濱口恵「糸22」ほか印象の強い作品群であった。

個人の活動を見てみると、2月には東南光書作展が60才を記念して、県郷土文化会館で開催され、多くの愛好者の鑑賞があった。徳島に続いて4月には奈良でも開催された。3月には河崎良行彫刻展「風のシリーズ」が徳島大学退官を記念して、県立近代美術館で開催された。展示された作品は約10年間の二紀展品作や、最新作「風の日々」のほか、長野県美ヶ原高原美術館蔵の「風のスイング」（ヘンリームーア大賞優秀賞）ほか、全国各地に展示されている作品のマケット等併せて40点であった。重量感とともに形状の狭間に生じる心地よいユーモアも感じられ、強い印象が残った。4月には板東俊一遺作展があり、「ばら」の絵の連作が、故人の優しい人間性をそのまま物語っていた。5月には久保幽香遺作展が開催され、県女流書家の第一人者としての高い水準の代表作100点余が展示された。作家の人間性をしみじみ思い出すことのできる書作展であった。飯原一夫絵画展「懐かしの徳島」が徳島城博物館で開催され、郷愁を漂わせた風景画シリーズは、愛好者を集めて盛会であった。斎藤靖子「海」ファミリー展も心暖まる楽しい展覧会であった。7月には後藤田仁一自選展が、画業50年を機に県郷土文化会館で開催された。作品は幾何学的な構成の抽象画で描き続けて25年間の代表50点の本格的個展となった。動きのある空間構成の個性豊かな作品群は、美術文化協会で活躍を続ける面目を余すところなく發揮し、多くの愛好家の心を強く捕らえた。長野ミッコ展が、阿波銀プラザで開催され、阿波踊りを主とした大作100号を含む91点の力作が展示され盛会であった。8月には県美協書道部会長の上田渓水書作展が、喜寿を記念して徳島市シビックセンターで開催された。展示作品は77点で、わずか1か月ほどの間に一

気呵成に書き上げたという衰えぬ創作意欲を發揮した作品であった。墨彩画もあしらった作品もあり楽しく見ることもできた。辻野正廣・宮井一三・大西文代三人展が徳島市シビックセンターで開催され、三人三様の個性的表現で興味深い作品が展覧された。9月には居上真人石彫展がギャラリーフオレストで、水間利生小品展が徳島トヨタギャラリーで開催された。乾繁春洋画展が、高松三越美術画廊で小品30点余によって開催された。10月には島ウタコ七宝展「空間に昇華する炎の美」が、徳島そごう美術画廊で開催された。20回展ということで、大理石に七宝を施した試作品も飾られた。徳島彫刻集団の主催する第1回佐藤隆彫刻展が、県立近代美術館で開催された。石を素材とした抽象作品で、この10年間の代表作15点が展示された。作者は「人間は自然の恵みを受けて生きているということを次の世代に伝えたい」と語っていたが、郷愁をさそう温かみのある印象的な作品展であった。11月には尾崎素子洋画展が鳴門市立図書館で開催された。日展入選作を含め、描きためた39点が展示されたが、人物像が主で、温和で誠実な表現は作者の心情と重なり好感のもてる作品展であった。染色作家の橋恵藍染30年展がヨンデンプラザ徳島で開催され、テーマ「風・光・波」のもとに詩情豊かな作品群が展覧された。藍染め30年を記念して作者は「見る人が作品との対話を楽しんほしい」と語っていたが、多くの愛好者を集めて盛会であった。

県外の公募展受賞関係では、清水亟慎さんが、国際芸術サロンで金賞を、乾繁春さんが、安田火災美術財団選抜展で秀作賞を、下時治郎秀臣さんが、白日展で最優秀の内閣総理大臣賞を受賞した。二紀展彫刻部門では、蒔田寿さんが同人出品で第一席の同人優賞に選ばれた。

特筆されることは、日本画一筋に生き、多くの後進を育て、意欲的に作品を発表し続けてきた県美協理事の長尾弘子さんが、6月に徳島新聞文化賞を、11月に芸術文化の振興に尽くした人に贈られる県文化賞を受賞された。さらに、地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）も受けられた。県女流日本画の第一人者として当然のこととはいえ、あらためて協会の皆様とともに心をこめて祝福をおくりたいと思う。

昨年に統いて今年も追悼のことばを記すことになった。5月16日に書家の田中栢翠さんが84才で亡くなられた。県美協の理事で、県内における前衛書道の中心的存在であった。戦後新しい書の創造を目指して前衛書道にいち早く取り組み、これを県内に根付かせた功績は大きいといえる。毎日書道展でも審査員をつとめられたが、人間的にも厳しく、そして優しい魅力ある人柄であった。9月25日には、県美協及び洋画部顧問をされていた長井公雄さんが亡くなられた。長井さんは、県展の生みの親の一人であり、県美術家協会の創立にも中心的役割を果たした功績は大きい。性格は温厚そのもので、作品も流麗な達筆で写実の風景画は愛好者が非常に多かった。84才で亡くなられたが惜しまれてならぬ作家であった。10月29日には県美協洋画部の元委員であった今田史男さんが82才でなくなられた。美術文化協会の会員で、徳島での支部創立者と言ってもよい。酒を愛し、物静かな性格は多くの友人にかこまれていた。このように県美術界にとって、大きな星が次々と消えることは、誠に淋しく残念なことである。心からご冥福をお祈り申し上げる次第である。

最後になったが、四国放送（放美展）、徳島新聞社（県美術展）並びに美術家協会の皆様方に心から感謝するとともに、ますますのご発展をお祈りしてはじめのことばとする。

平成14年3月

徳島県美術家協会会長

佐野比呂志

徳島県美術家協会規約

昭和23.	9.	12	規約制定
32.	7.	14	新規約制定
33.	4.	29	規約一部改正
42.	4.	23	"
46.	4.	29	"
47.	5.	29	"
49.	8.	22	"
52.	7.	23	"
56.	5.	5	"
58.	6.	5	"
61.	6.	21	"
平成4.	6.	27	"
6.	6.	25	"
10.	6.	27	"

第1章 総 則

第1条 本会は徳島県美術家協会と称し、事務所を徳島市内におく。

第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。

第3条 本会は徳島県に関係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。

- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻
- ⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン

第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。

- (イ)展覧会 (ロ)講習会 (ハ)講演会
- (ニ)観光美術の振興 (ホ)その他必要な事業

第2章 役員および会員

第5条 本会に次の役員をおく。

会長 副会長(2名)

理事(若干名) 監事(2名)

会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員の任期は2年として留任をさまたげない。

第6条 本会は顧問、参与および名誉会員を理事会の推せんによりおくことができる。

第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。監事はこの会の経理を監査する。

第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計会務の報告、役員の選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。

総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあっては3名、

31名以上の部にあっては、さらに10名毎に1名選出できる。

第9条 理事会は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を執行する。

第3章 部 会

第10条 各部に次の役員をおく。

部会長・委員(部会員数の3割以内)

部監事(2名)

役員は部総会で選出する。役員の任期は2年とし留任をさまたげない。

第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計会務の報告、役員の選出その他重要事項の審議を行う。

ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。

第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。

第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。

第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,750円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

第4章 経 費

第15章 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。

第16条 会費は年額3,500円とし、入会金は1,000円とする。

第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(参考)

☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。

☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館(徳島公園内の県立図書館)内へ移す。

☆昭和25年12月18日 協会バッヂを選定(图案は鬼塚副会長)

☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事(3名~5名)によることとする。

☆昭和46年4月29日 6部(日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道)のうえに商業美術(58年度からデザインに改称)が加わり7部組織となる。

平成12年度 事業報告

- (1) 総 会
- 平成12年 6月24日
 - 県郷土文化会館 5F 第7会議室
 - 平成11年度事業報告及び決算報告
 - 監査報告・承認
 - 平成12年度事業計画及び予算審議
 - その他
- (2) 理 事 会
- 平成13年 3月24日 放美展、県展役員選出等について
- (3) 第9回放美展
- 平成12年 5月3日（水・祝）～5月7日（日）
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道・デザインの
663点展示
 - 受賞者表彰式
平成12年 5月7日（日） 県郷土文化会館 第7会議室
- (4) 第55回県美術展
- 第1期 平成12年11月7日（火）～19日（日）
日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・デザインの518点
展示
 - 第2期 平成12年11月21日（火）～26日（日）
書道の375点展示
 - 第55回展受賞者表彰式 平成12年11月6日（月） ホテルクレメント
徳島
- (5) 県展・放美展会議
- 第55回県展運営委員会・県展事務局員会議
(平成12. 5. 11、12. 5. 30、12. 9. 11、13. 2. 23)
 - 第9回放美展運営委員会(平成12. 4. 28、12. 5. 26)
 - 第10回放美展運営委員会(13. 2. 8)
- (6) 現代美術・国際交流ニューヨーク徳島100人展
- 平成12年 8月5日（土）～9月24日（日）
 - 恒美術館（鳴門市）
日本画13人、洋画26人、写真25人、彫刻7人、美術工芸10
人、デザイン9人の計90人が出品

- (7) 各部会行事
- 日本画部
第55回新作日本画展 (12. 7. 12~16) 阿波銀プラザ
 - 洋画部
第15回洋画部会員展 (12. 6. 1~4) 県郷土文化会館
第2回絵画講習会 (12. 9. 10) 鴨島町文化研修センター
 - 写真部
倉敷方面写真撮影会 (12. 6. 4)
- (8) 各種後援
- ニッコールクラブ設立第1回徳島支部写真展 (12. 4. 14~16)
 - 第7回 大耿会書作展 (12. 4. 14~16)
 - 第23回 全美展 (12. 4. 20~23)
 - 第10回 個展 荒井天鶴 詞・書展 (12. 4. 20~23)
 - 平家のかくれ里 祖谷 後藤 能大写真展 (12. 4. 24~30)
 - 第23回「炎」作品展 (12. 5. 5~7)
 - 第14回 四国大学書道コース教員作品展 (12. 5. 12~14)
 - 第45回 成蹊書道会展 (12. 5. 12~14)
 - 第12回 “燎”4人展 (12. 6. 1~5)
 - 堀切蒿子・山口和子・中村晴代3人展 (12. 6. 2~6)
 - 第15回 正鋒会書作展 (12. 6. 3~5)
 - 第23回 八紅展 (12. 6. 8~11)
 - 第18回 双愛会書道展 (12. 6. 9~11)
 - 第29回 東玄書道会展 ~おもいで~ (12. 6. 23~25)
 - 第21回 東光会徳島支部展 (12. 6. 23~25)
 - 第59回 世代美術展 (12. 7. 6~9)
 - 第55回 新作日本画展 (12. 7. 12~16)
 - 第9回 一書展 (12. 7. 21~23)
 - 第24回 15人展 (12. 8. 18~20)
 - 第40回記念 写樂会写真展 (12. 9. 1~3)
 - 第32回 石井美術の会作品展 (12. 9. 14~17)
 - 第29回 徳島雪心会書作展 (12. 9. 15~17)
 - 第35回 日本墨彩画院阿南移動展 (12. 9. 16~19)
 - 第63回 書芸院選抜展 (12. 9. 21~24)
 - 第45回 書協人展 (12. 9. 22~24)
 - 第30回 直心会展 (12. 9. 22~24)
 - 第56回 青美展 (12. 9. 29~10. 1)

- 第35回記念 書道研究 清潮書作展 (12. 9. 29～10. 1)
- 第6回 徳島障害者芸術祭 エナジー2000 (12. 10. 3～8)
- 銳光会写真展 (12. 10. 6～9)
- 第4回 旺美展：徳島旺玄会中央出品者展 (12. 10. 12～18)
- 第23回 泉心会書作展 (12. 10. 19～22)
- 第15回 藍美展 (12. 11. 2～5)
- 佐々木超 油彩展 (12. 11. 3～6)
- 第9回 砂光篆会作品展 (12. 11. 10～12)
- 大塚秀峰 書作展 (12. 11. 15～29)
- 第12回 瞳月会書展 (12. 11. 18～20)
- 第5回 三美展 (12. 11. 18～26)
- 第29回 歳末チャリティ作品・色紙即売展 (12. 12. 9～11)
- 第5回 尚真書展 (12. 12. 8～10)
- 第4回 グループ翔作品展 (12. 12. 14～17)
- 第30回 四国大学書道コース学外展 (12. 12. 15～17)
- 第6回 六書展 (12. 12. 19～21)
- 第6回 退教協 悠美展 (13. 1. 26～28)
- 第32回 ナルトぴんぽけクラブ写真展 (13. 2. 10～12)
- 第4回 美術文化協会徳島グループ展 (13. 2. 21～25)
- 四国大学文学部書道コース第26期生卒業制作展 (13. 2. 23～25)
- 第27回 桂鳴書道会展 (13. 3. 2～4)
- 橘恵 阿波藍染30年展 (13. 3. 6～8)
- 第3回 徳島現代墨絵展 (13. 3. 9～11)
- 第6回 澄光会書作展 (13. 3. 9～11)
- 第14回 長玄書道会展 (13. 3. 23～25)
- 武市鳴雲 書作展 (13. 3. 30～4. 1)

徳島県美術展開催運営要項

第1条（名称・開催目的）

本展は徳島県美術展「以下（県展）という」と称し広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより本県の芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

第2条（主催団体）

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

第3条（開催運営の組織）

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」とを設置する。

運営委員、事務局員の任期は2年とする。但し再任は妨げない。

〔県展運営委員会〕

運営委員会のメンバーは、県美術家協会会长・副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から3名の合計21名でこれを構成する。

運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

- 1 開催運営の基本事項について審議決定すること。
- 2 審査員候補を推薦すること。
- 3 審査方法、表彰に関する事。
- 4 収支予算、決算の承認に関する事。
- 5 その他県展開催に必要な事。

〔県展事務局〕

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会各部から2名、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社2名の計17名でこれを構成する。

事務局員の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

- 1 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関する事。
- 2 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関する事。
- 3 審査員の下交渉、配宿、航空券の手配、審査日時、場所、接遇等の準備、手配に関する事。
- 4 収支予算案の作成に関する事。
- 5 開会式、表彰式の準備に関する事。

- 6 広報PRに関すること。
- 7 その他県展開催の下準備に関すること。

第4条 (出品部門)

県展の出品部門は日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

第5条 (展示作品)

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

- 1 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。

その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

- 2 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

- (1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

- (1) 特選を連続3回得たもの。

- (2) 年間を問わず特選を4回得たもの。

- (3) 年間を問わず特選又は準特選を6回得たもの。(特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする)

- (4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

◇次のものを特別出品とする。

- (1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、名誉会員、参与、審査員及び各部の会長、顧問、参与。

(注) ① 招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。

② 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

③ 40回展までの準特選は2回をもって特選と同値とする。

第6条 (審査員)

審査員は県外審査員とする。

審査員の選任は県美術家協会の各部会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い県展運営委員会の議を経て決定する。

第7条 (審査)

審査は公開により行う。

第8条 (入選、入賞数)

- 1 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する場合があるが、原則として次の範囲内に止める。

部 門	区 分	特 選	特別賞（56回展の場合）	準特選	奨励賞	入 選
日本画	2	徳島県美術家協会長賞	3	3 以内	規定数	
洋 画	3	徳 島 県 知 事 賞	5	5 "	"	
写 真	4	徳島県議会議長賞	8	8 "	"	
彫 刻	1	徳 島 県 教 育 長 賞	2	2 "	"	
美術工芸	2	徳 島 市 長 賞	3	3 "	"	
書 道	8	徳 島 新 聞 社 長 賞	13	13 "	"	
デザイン	2	四 国 放 送 社 長 賞	3	3 "	"	

※特別賞は各部とも特選の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。

賞はいずれも同格で毎年部門により1つずつ順位を変更し賞を贈ります。

2 入賞は1人1賞とする。

第9条 (表 彰)

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

- 1 特 選……賞状、賞金7万円
- 2 準特選……賞状、賞金3万円
- 3 奨励賞……賞状、記念品
- 4 入 選……全員に賞状
- 5 新世紀賞……各部門より特選、準特選、奨励賞を受賞した方の中から最少年齢者に
新世紀賞として、賞状、賞金を贈ります。

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

- 1 徳島県知事賞 1名
- 2 徳島県議会議長賞 1名
- 3 徳島県教育長賞 1名
- 4 徳島市長賞 1名
- 5 徳島新聞社長賞 1名
- 6 四国放送社長賞 1名
- 7 徳島県美術家協会長賞 1名

※特別賞の選考方法については別にこれを定める。

第10条 (収支予算)

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

- 1 出品料
- 2 入場料
- 3 図録売り上げ及び広告料
- 4 各種補助金
- 5 その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行い必ず証票をとり、毎年12月末に決算を行い、2月に開催する運営委員会に報告し承認を得るものとする。

第11条（出品料・協賛費）

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

- 1 県美術家協会員の出品料は1点3,000円、2点目から1点につき1,500円とする。
- 2 一般の方の出品料は、1点4,000円、2点目から1点につき1,500円とする。
- 3 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は、1点3,000円とする。

第12条（入場料）

県展の入場料は次の通りとする。

- | | | | | |
|---------|-----|------|----|------|
| 1 一般大学生 | 前売り | 500円 | 当日 | 600円 |
| 2 高校生 | 前売り | 250円 | 当日 | 300円 |

第13条（附 則）

本要項の規定は昭和61年9月から実施する。

本要項の改訂、修正は県展運営委員の3分の2以上の議決を経てこれを行うものとする。

平成4年2月22日 一部改正
平成4年5月16日 一部改正
平成8年5月25日 一部改正
平成11年5月14日 一部改正
平成12年5月30日 一部改正
平成13年5月30日 一部改正

第56回県展記録

会期（第1期）平成13年11月8日(木)～15日(木)

(第2期) 平成13年11月17日(土)～25日(日)

会場 県郷土文化会館

日本画

〔審査員〕 山崎 隆夫

〔特別出品〕 萩野 行夫

〔招待〕 長尾 弘子 橋本 正弘 中川 健 岡 英彦 土方るみ子
西野 和男 土井 洋子

〔贊助出品〕 森 薫苑 高田 瑞雪 長谷 寿

〔特選〕 柳田 一子（県美術家協会長賞）
富田 達子

〔準特選〕 秋元よし子 石原 千鶴 坂 容子

〔奨励賞〕 米沢 稔 江本美千代 反田 卓

〔新世纪賞〕 石原 千鶴

〔入選〕 田村 豊佑 川原 光恵 大久保芳和 井藤 茂雄 平野ひろみ
吉坂美智子 山本 泰子 有持 廣子 江上 豊 川口さやか
福田佳代子 森崎 雅子 上田真喜栄 細木 玲子 市川 義幸
島山 耀子 伊藤 雅子 坂本 久江 佐藤 陽子 森下 美恵
斎藤 久代 岸本 好美 吉田 弥生 中西 芳雄 原 千紗
清水佳代子 橋本 隆雄 南 清子 三ツ本繁美 白河 邦子
井村ひろみ 藤井 吉信 木内 和美

洋 画

〔審査員〕 大津 英敏

〔特別出品〕 佐野比呂志 永山 隆二

〔招待〕 清水 亟懊 楠瀬 等 立岩 巍 露口 敏幸 岡本 征二
長尾 弘久

〔贊助出品〕 浅田 二郎 岡 多美子 柏木 雅雄 河田 安市 黒崎 志郎
後藤田仁一 桧田 務 松川 寛 岡田 守 中辻奈美枝

〔特選〕 漆川 美希（県知事賞）
南城ミッ子 新居 千尋

〔準特選〕 加賀谷愛美 端野 育代 関 政明 鈴木 敬子 結城 栄子

〔奨励賞〕 西條 明彦 越久 高照 三木 好子 加川由紀子 二條 均

[新世紀賞]	漆川 美希							
[入 選]	中山 清一	岡田 和泰	阿部 昌子	鈴木 明雄	佐藤 久美			
	川田 繢	三谷 ミヤ子	南 扶実	島村 英之	秦 克之			
	藤井 香世	川原 禮子	井坂 知恵	宇高 桂子	笹賀 幸			
	島川 君子	藤丸 家栄	片山 富市	佐々木 超	大平 数子			
	星中 加奈	藤埜 理	川中比沙子	福良 哲子	吉田収二郎			
	玉田 秀子	騎馬 政美	平松 智子	四宮 良子	佐々木 茂			
	伊勢 浩章	西川 敬子	篠原 昭子	米田 薫子	東 紀美子			
	岡田 典子	木下 和江	宮本 俊助	田岡 荘二	田中シゲミ			
	笹田 興一	佐野 雄一	西川 周三	大崎 聰美	藤崎 恭子			
	岡田 純子	北 美智子	岡本 英見	浅山 久子	西 富美			
	藤本 晴子	服部 隆子	曾我部美智子	麻植 尊正	青木 幸子			
	佐藤 敬子	小笠原秋子	石川 安恵	曾我部秀子	伊原 妙子			
	浅井 香織	井上 敏子	河野シゲ子	関 京子	国見シゲミ			
	喜多 直彦	三谷多美子	来見まゆみ	島上 二郎	堀江 幸子			
	村本恵美子	小川 雅代	藤本 千秋	河本多恵子	林 伸也			
	姫田 正義	大津 憲文	土橋 正子	川口 均	田中 康子			
	河村 君子	佐藤 友美	山道 瞳	近藤 克子	仲 敬子			
	三木 洋子	松本 啓子	宗本 菊代	宮田 京子	谷口 園			
	大西 道夫	林 敏雄	原田チエコ	岡本真貴子	三好 初子			
	松本 啓子	田渕 浜子	藏本 秀夫	西條 敏夫	林 廉太郎			
	近藤 幸	中本真由美	正木 和夫	中川 清隆	富澤 京子			
	吉岡 英樹	天野 功治	岩朝 美絵	野村 雅子	坂本 和生			
	大西 文代							

写 真

[審査員]	大石 芳野							
[招待]	増田 清次	井上 光雄	西條 征二	勝西 雅夫	藤井 梵			
	武内 亨	笹田 敏雄	櫛渕 魏	酒井 博司	三好 和義			
	上野 照文	森 賢一	橋本 圭祐	安長 剛	前浦 芳久			
	荒井 賢治	林 敏彦	多田 晴美	古井 謙吉	中野 建吉			
	井藤 光章							
[無鑑査]	増田 壽							
[特選]	堀口 幸男 (県議会議長賞)							
	久保 英樹 安部 幸子 三木 理司							

[準特選]	川村 泰史	野藤 敏美	野藤みきよ	柳本 正	梅本 貞範
	木下 昇	林 邦光	大西 啓子		
[奨励賞]	内田 忠秋	林 好一	森住 博	岸田 義市	多川 静守
	辻 義徳	塙本 勝義	渡辺 功機		
[新世纪賞]	三木 理司				
[入選]	佐藤 考利	吉本 武彦	森 光	河野 光雄	神野 太三
	佐治 孝	久我 千鶴	佐野 辰夫	鴻野 孝	戸出 匡
	松田 昇	富永 幸子	山田 勝二	川上たかと	上杉 大一
	佐藤 芳之	梶村 鉄次	中西すみ子	根ヶ山 治	根ヶ山美江
	森住岩三郎	守原 修	藤本 康代	谷 賢太郎	八村 澄枝
	国見 良幸	佐々木敏幸	下山 久男	石川 徹雄	西野 倫子
	矢部 弘子	吉田 仁志	小林 保子	妹尾 早苗	大津 勝治
	河田 清	柳川 信子	宮本 幸治	大和 健司	竹内 好文
	渡邊 信二	川西 明雄	辻 絹子	小山 秀晃	林 達也
	山橋 良治	武林 恭史	一宮 喜八	宮崎謙一郎	粟田ふさえ
	清水 定七	前田 輝子	吉村 敏嗣	浜田佳津子	美馬 弘典
	横山 勤一	和田 裕道	三木 恭子	潮 満寿子	姫田 慎治
	椎野シゲ子	岸上 俊博	高田 幸政	新居 丈市	貞光 邦彦
	佐竹 清	村川 浩一	一宮 由子	宇高 憲吾	川真田慶治
	大森 孝克	梅久 匠	笠井 房子	阿部 美昭	原井 裕夫
	前坂 祥文	赤木 昭子	板東 律雄	土橋 成行	島 廣幸
	後藤 正巳	田中 広明	久保 幸満	阿部 啓三	中尾 一元
	福原 和代	村岡 洋一	露口万里子	四宮 正恵	木村美紗子
	笹野 儀一	吉崎 伝	横田 正敏	志摩 育美	松浦 真一
	藤田 美爾	吉田 弘	十川 和也	飯田 忠志	橋本 博美
	田村 一郎	武地 雅	竹内 勝	佐野 和史	船越 正文
	田中喜久夫	中川 定典	坂東 進	坂東 裕子	坂東 鶴雄
	牧本 正	天狗石義武	板東よしお	阿部 房恵	森内 昭男
	岩崎 英昭	柳谷 雅夫	坂田 能啓	小原 治	福田 満雄
	村沢 義清	岸本 英紀	田中 伸廣	溝渕 寛治	岡村 清
	加藤 千明	三谷 敏行	森川みさこ	井上 憲治	田村 泰弘
	斎藤 剛	佐藤 義雄			

彫刻

[審査員] 石黒 錦二

[特別出品] 河崎 良行
 [招待] 佐藤 隆 大津 文昭 濱口 恵 井下 俊作 鎌田 邦宏
 松永 勉
 [贊助出品] 長岡 強
 [無鑑査] 蒔田 寿
 [特選] 中川 伸一 (県教育長賞)
 [準特選] 玉田 悅子 上月 佳代
 [奨励賞] 武田亜希子 二宮 治夫
 [新世纪賞] 武田亜希子
 [入選] 山尾 敬子 榎本 幸男 橋本 敬子 後藤 建介 居上 真人
 清水久美子 笠井 正彦 東 光司 吉田 祐子 加藤美津子
 安藝 淳二 戸田 智 春田久美子 川下 知子 加藤 彰一

美術工芸

[審査員] 栗木 達介
 [特別出品] 山上 鑿
 [招待] 新居 猛 高橋 勇 七条猪三郎 多智花佐代子 松下 雄介
 松下 慶一 森 賢一 橋 恵 犬伏 純
 [贊助出品] 村上 正典 中川 存
 [特選] 田村 祐子 (徳島市長賞)
 綾野 昌子
 [準特選] 井後 善朗 岡崎 益子 藤井 哲信
 [奨励賞] 丸居 哲雄 楠 博子 四十宮年代
 [新世纪賞] 綾野 昌子
 [入選] 佐木川みのる 山田 和子 太田 進 越 由子 西山多恵子
 玉木 紋 垣内耕太郎 平井 恵子 宮本 孝 鵜山 早苗
 斎藤 和彦 内田 大輔 松山 豊 椎野 寿子 吉田 晃子
 藤井 雅代 橋本 正子 平田志保子 椎野 隆子 吉田 満子
 近藤 静恵 加藤 伴江 手塚 健一 梶原 浩二 大東 弘子
 水口 節子 大木 由紀 寒川 治雄(2) 野村 裕子 北村久美子
 平尾 静子 井川 武子 阿部真由美 森 悅光 吉田 敏明
 川真田 弘 三井 みつ 阿部 徳子 富永 裕子 森 克江
 加藤 和美 森 明治 宮本 真弓 櫻原 道雄 竹内智恵美
 村川 栄一 吉田 陽子 小栗加代子 田村 加代 吉田 真弓
 北野 亘章 桜井 慎治(2) 隅田 良佑 住友 良英 田村栄一郎(2)

藤井 哲信	青木 房江	美浪 文	田村 純子	奥谷麻里亞
山下 久美	北岡 啓子	青山 美佳	樺原フサコ	手塚 小夜
三橋 玄児	天野 和子	美馬 潤子	柿田コイト	鳥井 明子
永山昭一郎(2)	太田 裕子			

書道

〔審査員〕 宮崎 葵光	赤江 華城	金子 卓義			
〔特別出品〕 荒井 天鶴	新居 藍州	讚岐 泰泉			
〔招待〕 宮井 青雨	長原 皋聖	高原 清泉	西 南龍	成尾 莊秀	
渡辺 草石	原田 霽月	芝原 醒鶴	前川 古舟	清水 桂月	
美馬幾美賀	春藤 大耿	中谷 史子	長谷 美峰	勝瀬 景流	
川上 虹泉	三間 好鶯	近藤 静苑	上田 溪水	日下 溪翠	
岡島 順子	荒井 彦仙	竹田 和代	山口 華城	藤若 美風	
武市 鳴雲	中尾 勝子	佐藤 真	富久 鳴泉	永松 春苑	
島田 小園	坂本 霽風	浜 佳香	隅田 英二	松本 清香	
多田 清芳	玉城 乾香	薄田 玲泉	能仁 華瑠	高岡 晃祥	
〔贊助出品〕 東 南光					
〔無鑑査〕 高田 青蓮	三浦富美代	岩本 志豪			
〔特選〕 佐原 武子(徳島新聞社長賞)					
鳩成 広美	福永久美子	福家 佳余	河野多美子	藤原 育代	
田岡佐記子	山口 文子				
〔準特選〕 栗飯原優子	村部 幸子	松永 浩子	春山 留理	竹内 英子	
宮守 とみ	宇山 安俊	森西美也子	鳥井佐知子	長原 七与	
福山 啓子	丸田 三恵	阿部 公恵			
〔奨励賞〕 沖田 章代	川村 真澄	笠原 笑子	八木 澄江	西岡 哲子	
山本 美幸	伊丹 志織	藤井 昭子	大西 英子	川又 敏香	
富永美知子	吉田さい子	梶川 佳奈			
〔新世紀賞〕 春山 留理					

〔入選〕

漢字の部

大塚美代子	多田カオル	阿部 千明	藤村 恭子	矢部 知子
米澤 司子	熊代 厚子	宇山 和治	谷 弘美	吉田 京子
横田あかね	植村 恒子	青木 博美	近藤 美香	美馬 潤子

小倉 孝子	工藤 孝子	佐藤真由美	生田 茂子	大平美代子
笠松八重子	喜多志津子	中谷 明美	前田 麻子	西堀 柳亜
鎌村 明子	中川 博雅	谷 典子	小林 宏美	真鍋 洋子
小西貴美子	松浦 幸子	荒川 佳子	谷本真由美	野口 有香
平尾真由美	須見智香子	井村 信子	安田 宏子	澤本 鈴美
平野 実	吉平 順子	永岡ツタエ	宇山 峰子	河野久美子
浅川 陽子	四宮 千春	後藤 佳美	安原 照代	折野 茂幸
大野シゲ子	原 貞子	四宮 恭子	桑田 次雄	洲崎 忠雄
大下 富江	中川恵美子	奥田 文子	陶久 房枝	高尾 泉
山地 靖子	飯田 公子	川辺 光俊	鈴木 正友	杉本千鶴子
久保ともえ	黒田ゆりか	花木トヨコ	寺内 金子	北村 浩子
西野 道夫	高井 初子	藤田喜美代	岡島 倍子	豊浦 佳子
篠原ゆかり	春藤 秀子	山城テル子	弘田 敏章	鈴木エリ子
馬居美智恵	片山 芳明	高原 智世	田上 洋子	伊勢 浩美
河野 雅美	細川 美佳	河内 英見	吉田 幸代	田中 育子
勝浦 美和	江口 徹英	小林 忠志	由宇 典代	木内理映子
戸出 浩子	谷本 洋子	詫間 敬久	佐古 陽子	吉村 清志
片山 保	久保 朝子	林 みゆき	駒田 澄子	海原 進
以西 寛敬	加藤 智子	黒田 早苗	祖川 るみ	向井美由希
辻 尚子	有井 清	古川 恵巳	野村千恵子	

仮名の部

関根 史子	枝川 照子	中筋 良江	出口未喜子	尾田 艶子
宇津 清子	永岡ツタエ	東 弥生	井村 信子	伊藤 秀子
須見智香子	野口 和子	廣島 章子	由利 里子	丸岡 智子
吉岡 栄子	山西ツタ子	草苺 明美	西宇 明美	向井 絵美
高木 瑞枝	権田 明菜	藤原万里子	吉田美重子	山本 恵子
阿部 博子	大久保佳余子	松浦真知子	三好 啓子	宮下和加奈
佐々木 肇	広島 佑香	上田 久恵	皆谷 露子	武田 詩夜
中田 幸子	福良美代子	高島 智子	井内 光子	阿部 智代
祢木真佐子	井上 彰夫	森 裕美子	新納 房子	赤川久美子
倉本 節子	林 孝枝	佐川 公子	森 弥生	遠藤 由子
湊 泰子	益田 昌子	背川 章子	加藤 昭子	井上 まり
木田 嘉子	椎野 国子	青山 秀香	遠藤 孝子	三宅 佳代
柏原 善子	椎本 敬子	河野紀代子	近藤真千子	佐野チヨミ
小西 敬子	佐古 陽子	山本 愛美	向井美由希	辻 映子

向井 京子	大原 千佳	古川 智野	原田 葉子	内田 麻紀
大平 英子	藤田 健二	藤井三樹子	加藤 光子	畠山 政子
大滝富美枝	崎野亜希子	山崎 秀美	清水 敬子	川崎 景子
久積希実子	宮寺 妙子	中野 幸代	湯浅 美香	田渕 美和
亀石 二三	山橋不二子	新子 町子		

近代詩文の部

青木寿恵子	朝三 和子	天野 豊	糸田川純子	遠藤玻都恵
遠藤 稔子	大井多鶴子	大島 清子	大西千鶴子	小川佐江子
川下小夜子	川人 和美	河野 富子	川端喜美子	木田 史子
幸田 康代	児玉 幸子	阪口 光子	坂尾 俊一	榎原早知子
桜間 好佳	佐藤 恵子	沢村 清美	新聞ひとみ	瀬部 洋子
高岡喜美子	高瀬 善郎	高橋美知江	武市三奈子	武田 淳子
武樋 清子	谷口 昭子	谷口 陽子	谷本 清子	出原とし子
内藤ますみ	長井 洋子	中島 和子	長野 裕子	仁木しもえ
野田 洋子	野本 寛之	橋本 君代	浜口 敏子	平岡 郁子
藤本 優子	丸岡 良子	森岡 稔子	森本知世子	森本 陽子
矢野 照代	山崎ひとみ	吉田佐知子	若林 節子	和田 悅代
和田富美子	渡邊 亜希	今山 静恵	犬伏 靖江	大塚 治子
大野 美子	岡崎 啓子	川人 宏子	木内 典代	坂本 貴子
佐藤マスミ	佐伯雄二郎	里村 典子	清水 美穂	玉城 若菜
都築百合子	中村 葉子	西勝 恵理	野口 晴世	福田 道子
松岡 文子	森浦 和子	山口 幸子	山本 陽子	吉積 恵子
米延 亨	小野 幸久	高口 盛幸	伊丹 志織	

前衛の部

林 浩一	伊丹 明美	永井 厚子	荒井 和子	柏尾美恵子
高松 輝子	大胡恵里香	吉成 真紀	平野 智子	糸 初奈
今田真梨子	三浦 みや	中川 博雅	中川 富量	義富 博正
佐藤由紀代	島尾 明良	古林 明子	西岡 節子	枡富 年子
木下 安子				

デザイン

〔審査員〕 秋山 孝

〔特別出品〕 坂本三千一

〔招待〕 浅野 昌哉 斎藤 繁次 坂野美恵子

〔賛助出品〕 福井 章

〔特選〕 敷島のり子 (四国放送社長賞)

浅野比呂志

〔準特選〕 斎藤志津子 大山 奈里 福島 康仁

〔奨励賞〕 斎藤 剛 尾形 淳 平尾 奈菜

〔新世紀賞〕 平尾 奈菜

〔入選〕 北島 豊嗣	シマブクシンティア	寺本 礼子	松田 紘子	井内 亜子
米本 真理	杉山亜裕美	中野沙耶華	大西 和美	佐々木 愛
米岡万里子	天羽 恵子	四十宮隆志	岡本 麻希	森 直美
芳田 知子	佐野百合香	須藤 政代	久米 陽子	仁木 靖子
鹿山 美樹	葉久真理子	後藤 郁美	原田 寛子	村井 千裕
横田 実希	岡本 妙子	堀 真由美	笛谷 祐子	安田 愛
仁義 弥生	大塚 寛子	吉田ファビア曲美	芦尾 節子	藤井美早子
千葉真由子	川井 美穂	山田 早織	阿部万里子	

第56回県美術展出品・入選等状況

区分	部門	日本画	洋 画	写 真	彫 刻	美術工芸	書 道	デザイン	計
出 品 数		68	329	904	32	140	864	138	2,475
人 数		59	227	253	29	108	603	116	1,395
入選	率	60.1%	37.7%	16.8%	62.5%	60.0%	40.0%	34.1%	32.9%
	特別賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	特 選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準特選	3	5	8	2	3	13	3	37
	奨励賞	3	5	8	2	3	13	3	37
	入 選	33	111	132	15	76	312	39	718
	計	41	124	152	20	84	346	47	814
落選	率	39.9%	62.3%	83.2%	37.5%	40.0%	60.0%	65.9%	67.1%
	落 選	27	205	752	12	56	518	91	1,661
招待等	特別出品	1	2		1	1	3	1	9
	招 待	7	6	21	6	9	40	3	92
	無鑑査			1	1		3		5
	賛助出品	3	10		1	2	1	1	18
	計	11	18	22	9	12	47	5	124
展 示 数		52	142	174	29	96	393	52	938

◎特別賞は特選の内数である。

◎特選・準特選・奨励賞を受賞した中で、一番年齢の若い方に新世紀賞を贈る。

徳島県美術

部門 回数	日本画	洋画	写真	彫塑
1	委員	〔野間永仁根 根三郎	委員	郎夫 三文
2	大栗旌忻	野間仁根	上田備山	田東 太坂
3	委員	伊原宇三郎	同上	三文芳 太坂鹿
4	委員	須田国太郎	同上	同上 太坂
5	上村松篁	田村孝之介	小野由行	田東 三文
6	西山英雄	伊藤繼郎	川崎亀太郎	同上 同田
7	山口華楊	田川勤次	棚橋紫水	藤太郎 新田
8	池田遙村	須田剋太	同上	田東 太坂
9	水田竹圃	小出卓二	同上	三文 同上
10	菅楯彥	〔鈴木間信太郎 根仁太郎	同上	同上 同上
11	奥村厚一	井上長三郎	岩宮武二	上上 同同
12	浜田觀	福沢一郎	棚橋紫水	上上 同同
13	小松均	藤井令太郎	同上	〔辻坂 堂夫
14	秋野不矩	針生一潤郎	岩宮武二	郎郎 晋文
15	奥村厚一	向井潤治	棚橋紫水	一五 義良
16	同上	吉原治泰	岩宮武二	郎達吉 柳原井
17	松尾冬青	中谷勘治郎	同上	向田 向安
18	矢野鉄山	池島勘治郎	同上	安植 佐辻
19	中村貞以	森芳雄	堀内初太郎	田内 堀植
20	曲子光雄	桂ユキ子	岩宮武二	木藤 佐辻
21	沢野文臣	伊谷賢藏	同上	忠良 辻井
22	堂本阿岐羅	村井正誠	同同	和茂堂吉 吉
23	松岡政信	山下大五郎	岩宮武二	忠良 上池
24	山崎忠明	大沢昌助	棚橋紫水	菊一

展 審 査 員 一 覧

美術工芸	書道	デザイン
鬼塚信之	委員	
同上	田中白村	
同上	炭山南木	
同上	炭山南木・織田子青	
同上	手島右卿	
〔鬼塚信之 〔新田藤太郎〕	同上	
鬼塚信之	小坂奇石	
明石朴景	辻本史邑	
会田裕宣	織田子青(漢)・出口草露(仮)	
鴨政雄	松井恕流	
近藤悠三	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
平松宏春	同上	
同上	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠	
大西忠夫	荒井天鶴・後藤泰秀・後藤田香石 田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	
明石朴景	同上	
平松宏明	同上	
大西忠夫	同上	
鴨政雄	同上	
平松宏春	同上	
内田邦夫	同上	
山脇洋二	同上	
楳尾宗一	同上	
山脇洋二	荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰	

部門 回数	日本画	洋画	写真	彫 (46回まで彫塑)	刻
25	奥村 厚喜	成雄	棚 紫上	原掛	典郎
26	梶上 喜一	三七	橋 上知	松小	武五郎
27	黒原 原一	誠夫	伊 武上	保篠	次外
28	松岡 光茂	三岑	岩 同	江口	広春
29	黒岡 光茂	雄忠	藤 同	同	明邦
30	河合 光健	男長	高 同	同	義九祐
31	長谷川 青澄	忠長	島 同	柳一	彦達
32	松岡 政信	文郎	田 同	清	兵衛
33	山岸 笠純	二郎	中 同	桜土	一郎
34	坂口 庆數	忠文	島 宮同	山清	省猛
35	下田 穂沙	郎二	田宮同	城城	武郎
36	同同義上	治寿	中同	清淀	弘造
37	同同保下	一雄	同田同	木橋	郎実子
38	橋松 田本	郎人	同宮田	山土峯	生爾
39	山岸 平川	宏寬	原原宮	峯小建	大二
40	福岩 井沢	衛義	藤木田	古恩	典
41	穗田 淵路	夫邦	木木木	石石	郎志
42	田中 下工	純敏	木島島	香石	彦週
43	那波 那内	夫人	原原藤	博厚	郎達
44	多須田	夫重	江田	豊敏	兵正
45	那内 松山	爽一	根根樹	英	兵良
46	多須田	俊融	木沼		敏敏
47	那内 松山	重義	越越		隆
48	那内 松山	早功	栖根		
49	多須田	勝	樹田		
50	那内 松山	あ敏	田谷		
51	工藤	隆	木津		
52	那波 多須				
53	那内 田尾				
54	松山 崎				
55					
56					

美術工芸	書道	デザイナー (37回まで商業美術)
藤本能道	荒井天鶴・後藤泰秀・田中双鶴・田中栢翠 富永眉峰	野弘浩 大智良 早川一 原中英 奥中野 灘本唯
三井安蘇夫	同上	高猛 田雄 井正 城繁 津一 粟隆
六角顥雄	同上	田正 中一 野繁 本一 本正
鈴木貫爾	同上	高一 田繁 井一 城正 津一
田村耕一	同上	田潔 中光 井典 城策 津治
山脇洋二	同上	田光 中一 井一 城一 津一
浅野陽	同上	田人 中一 井一 城一 津一
前田泰次	同上	田人 中一 井一 城一 津一
山脇洋二	同上	田人 中一 井一 城一 津一
中村光哉	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・田中双鶴 田中栢翠・富永眉峰・新居藍州	田繁 永一 山正 粟一 田一 長一 龟一 田一 長一 龟一 伊一 藤一 佐一 河一 松一 浅一 藤一 五十一 青一 松一 安一 U.G.
山脇洋二	同上	藤憲 伊マコト 藤一 藤一 永一 葉一 井一 嵐一 葉一 永一 西一 水一 良一 早一 川一
田村耕一	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰 西岡楚峰	城一 津一 粟一 田一 長一 龟一 伊一 藤一 佐一 河一 松一 浅一 藤一 五十一 青一 松一 安一 U.G.
同上	同上	一也 真一 己一 雄一 暢一 輝一 真丸一 一雄 寿一 平一 孝
山下恒雄	荒井天鶴・田中双鶴・田中栢翠・富永眉峰	藤治 伊一 藤一 永一 葉一 井一 嵐一 葉一 永一 西一 水一 サト
同上	同上	一也 真一 己一 雄一 暢一 輝一 真丸一 一雄 寿一 平一 孝
浅野陽	荒井天鶴・久保幽香・讃岐泰泉・春藤大耿 高原清泉・田中双鶴・田中栢翠・長江清幽 新居藍州・西岡楚峰	藤治 伊一 藤一 永一 葉一 井一 嵐一 葉一 永一 西一 水一 サト
中村光哉	明石春浦・坪井正庵	伊一 藤一 佐一 河一 松一 浅一 藤一 五十一 青一 松一 安一 U.G.
浅野陽	桜井琴風・黒野清宇	伊一 藤一 佐一 河一 松一 浅一 藤一 五十一 青一 松一 安一 U.G.
山下恒雄	大岡皓崖・山田伍雲・西野象山	伊一 藤一 佐一 河一 松一 浅一 藤一 五十一 青一 松一 安一 U.G.
三浦小平二	花田峰堂・小山素洞・東地滄崖	伊一 藤一 佐一 河一 松一 浅一 藤一 五十一 青一 松一 安一 U.G.
松永熙	浅見綿龍・森本妙子・加藤大碩	伊一 藤一 佐一 河一 松一 浅一 藤一 五十一 青一 松一 安一 U.G.
山下恒雄	近藤摂南・東山一郎・中野北溟	伊一 藤一 佐一 河一 松一 浅一 藤一 五十一 青一 松一 安一 U.G.
島田文雄	谷村憲齋・植村和堂・太田義久	伊一 藤一 佐一 河一 松一 浅一 藤一 五十一 青一 松一 安一 U.G.
大西長利	安原臯雲・池田桂鳳・金子卓義	伊一 藤一 佐一 河一 松一 浅一 藤一 五十一 青一 松一 安一 U.G.
山下恒雄	鈴木桐華・西本支星・金子聰松	伊一 藤一 佐一 河一 松一 浅一 藤一 五十一 青一 松一 安一 U.G.
島田文雄	尾崎邑鵬・井茂圭洞・大井綿亭	伊一 藤一 佐一 河一 松一 浅一 藤一 五十一 青一 松一 安一 U.G.
中井貞次	栗原蘆水・榎倉香邨・種谷扇舟	伊一 藤一 佐一 河一 松一 浅一 藤一 五十一 青一 松一 安一 U.G.
栗木達介	甫田鶴川・小山やす子・石飛博光	伊一 藤一 佐一 河一 松一 浅一 藤一 五十一 青一 松一 安一 U.G.
宮田亮平	杭迫柏樹・藤木正次・吉田成堂	伊一 藤一 佐一 河一 松一 浅一 藤一 五十一 青一 松一 安一 U.G.
松永熙	津金孝邦・池田桂鳳・松永暘石	伊一 藤一 佐一 河一 松一 浅一 藤一 五十一 青一 松一 安一 U.G.
竹内順一	田中節山・村上俄山・黒田玄夏	伊一 藤一 佐一 河一 松一 浅一 藤一 五十一 青一 松一 安一 U.G.
栗木達介	宮崎葵充・赤江華城・金子卓義	伊一 藤一 佐一 河一 松一 浅一 藤一 五十一 青一 松一 安一 U.G.

第10回 放美展記録

会期 平成13年5月2日(水)～6日(日)
会場 県郷土文化会館

日本画

[審査員]	長尾 弘子	中川 健	西野 和男		
[運営委員]	長谷 寿				
[美協理事]	森 薫苑				
[無鑑査]	柳田 一子				
[放美賞]	清瀬 寛子				
[優秀賞]	米沢 稔	川口さやか	黒田 實		
[第10回記念特賞]	吉田 弥生				
[入選]	川原 光恵 南 清子 井藤 茂雄 日野 房子 細木 玲子 高橋 タケ子 上田 真喜栄	三谷 浩三 西口 光代 木内 和美 佐野 恵子 高部 恒香 石原 千鶴	有持 廣子 市川 義幸 朝田 敏子 橋本 隆雄 三木 積 森崎 雅子	江上 豊 岡澤 茂子 久保 孝子 田尾 富子 岸本 好美 幸田 道子	瀬尾 久江 藤村ミチヨ 斎藤 久男 島山 耀子 板東多恵子 吉田 弥生

洋 画

[審査員]	岡 多美子	立岩 巍	松川 寛		
[運営委員]	黒崎 志郎	永山 隆二	桝田 務		
[美協会長]	佐野比呂志				
[無鑑査]	河本多恵子	閔 京子	佐々木 超	三谷ミヤ子	島川 君子
[放美賞]	篠原 稔				
[優秀賞]	河村 君子 漆川 美希	福良 哲子 田中シゲミ	元廣 俊子	岸本 花子	藤丸 家栄
[第10回記念特賞]	吉岡 英樹				
[入選]	浜田 益子 杉村 良典 閔 政明 浅山 久子 米沢 博 田中 康子 鈴木 敬子 北 美智子 山口 明美 小川 雅代	川田 繢 武田 洋子 岡田 典子 村瀬 露月 佐々木 茂 土橋 正子 川原 禮子 前野 亮治 越久 高照 中本真由美	山田 越子 伊勢 浩章 南 清子 原田 邦彦 林 廉太郎 片山 富市 中川登志子 曾我部秀子 梅津美砂代 野田 豊	須見 澄子 小笠原秋子 青木 幸子 中山 清一 村澤寿美子 山村ひろ子 大西利津子 阿部 昌子 市橋恵美子 正木 和夫	大崎 聰美 為実美恵子 結城 栄子 木下 博子 二條 均 藤井 香世 白草 由子 大西 啓剛 市原 幸子 答島 久子

山根 茂美	木田サチコ	村川 栄一	丸関 朋子	大西 文代
井上 敏子	湯岑エミ子	木下 和江	若山 一恵	北村真梨子
富永 景子	佐藤 千恵	大西 道夫	野村 雅子	十河 芳樹
吉岡 英樹	近藤 由里	前橋 義浩	島田美奈子	善成 敏子
野上 恵子				

写 真

[審査員]	荒井 賢治	櫛渕 魏	酒井 博司			
[運営委員]	武内 亨					
[美協顧問]	西條 征二					
[美協理事]	井上 光雄	安長 剛				
[無鑑査]	赤木 昭子	堀口 幸男	柳本 正			
[放美賞]	国見 良幸					
[優秀賞]	川真田慶治 一宮 由子 岡村 清 渡辺 幸	久保 英樹 根ヶ山 治 石川 徹雄 梅本 貞範	武林 恭史 岸田 知久 野口 道子 森内 昭男	柳川 信子 久我 千鶴 西野 倫子 粟田ふさえ	村岡 洋一 浜田茄代子 辻 絹子 田中 伸廣	
[第1回記念特贈]	播口 徳充					
[入選]	清水 定七 久保 英樹(2) 佐藤 考利(3) 中野 久世 土橋 成行 竹内 勝 村雲 清郷(2) 大栗 隆夫 佐藤 義雄(2) 喜多 昌弘 吉田 仁志(2) 富永 幸子(2) 櫛谷 文次(2) 松尾 康弘 野口 道子(2) 榎本 尚美(2) 佐々木敏幸 島 廣幸(2) 露口万里子 踏脱 公男 志摩 育美(2)	大貝 秋子 谷 賢太郎(2) 吉本 武彦 神野 太三(2) 小林 保子(2) 中西すみ子(2) 板東 敏晴(3) 阿部 美昭 河田 清(2) 江口 民二 横田 正敏 川口 政子 谷中美智子(2) 横山 駿二(2) 石原 潔 奥野 持重(2) 西野 倫子 吉岡 淳 浅川 理 近藤 恵子(3)	佐治 孝 三木 恭子(2) 田中喜久夫 佐竹 清 妹尾 早苗 野藤 敏美 矢野 志江 岸田 義市(3) 根ヶ山 治 播口 徳充 林 晴之 中島 敏子 三宅 道子 正満 恭子 片岡嘉寿代 木村美沙子(2) 播 博文 渡辺 幸 高橋 雪雄 安原やすこ 森住 博(3)	藤田 美爾 中野 昭子 前坂 祥文 吉崎 伝(2) 柳本 清一 野藤みきよ(2) 福原 和代 一宮 由子(2) 根ヶ山美江(2) 毛利 次郎 岸田 知久 岸田 知久 内田 和子 岡村 清 四宮 清文(2) 内田 澄子 田中 愛子(3) 林 達也(2) 高橋 雪雄 安原やすこ 上杉 大一(2) 中山 良男(2)	川真田慶治(2) 川村 泰史 武林 恭史 正見 晃章(2) 柳川 信子 清水 宗保 原井 裕夫(2) 米沢美千代(2) 大津 勝治 柳本 清一 渡辺 功機 浜田茄代子(2) 田村 嘉孝(2) 石川 徹雄 下山 久男(3) 内田 忠秋(2) 向 儀一郎(2) 梅本 貞範 笠野 由紀(2) 大森 孝克 中川 定典 森内 昭男(2)	

梅久 匠	三宅三代栄	守原 修	藤本 宗子	秋野 昌子(2)
大和 健司	粟田ふさえ	吉本 亮子	大久保智仁	牧本 正(2)
後藤 和美(3)	大西 啓子(3)	国見 良幸	吉村 敏嗣(2)	田中 伸廣
伊達 照子	鮎川日出一			

彫 刻

[審査員]	鎌田 邦宏	長岡 強	濱口 恵		
[運営委員]	井下 俊作	松永 勉			
[美協副会長]	河崎 良行				
[無鑑査]	笠井 正彦				
[放美賞]	東 光司				
[優秀賞]	加藤 彰一				
[第10回記念特別賞]	田川 莉沙				
[入選]	二宮 治夫	山尾 敬子	井上 喜美	川下 知子	清水久美子
	武田亜希子	川口久美子	吉永慎太郎	東 安一	柳本 美央
	後藤 建介	井上 浩子	田川 莉沙	大谷 和子	堀北 有里
	橋本 敬子				

美術工芸

[審査員]	橋 恵	松下 庆一			
[運営委員]	高橋 勇				
[無鑑査]	桜井 慎治	森 明治	湯浅カツエ	吉田 敏明	
[放美賞]	斎藤 和彦				
[優秀賞]	四十宮年代	加藤 伴江	寒川 治雄	隅田 良佑	田村 祐子
[第10回記念特別賞]	美浪 文				
[入選]	阿部まきみ	加藤 和美	早見 敏子	佐治 孝	武田 美子
	鵜山 早苗	阿部 徳子	阿部真由美	今出 周子	川口 昭子
	久米 春江	北野 亘章	竹内寿和子	長尾 常夫	吉田 祐子
	山本美恵子	佐藤 玉恵	四宮 義雄	森 克江	四宮 千代
	小川佳代子	寒川 治雄	吉田 晃子	前野 亮治	多田 宏
	池渕 節子	漆原 久子	岸田八代子	小川 伸子	樺原 道雄(2)
	樺原フサコ	住友 和子	武田 由枝	小林 文子	日高 琴美
	岡部 育子	喜多 義明	島村 広子	松原 敦子	平尾 静子
	楠 正陶	近 陶陽	水 清流	守の 日影	多田 正幸
	川真田泰裕(2)	内藤 久子	梶原 浩二	大川 雅代	篠原 光彦
	田村 佳代	吉田 陽子	田村 純子	内田 牧子	櫻間 修子
	手塚 健一	美浪 文	松永 卓司	大東 弘子	吉野 由紀

村川 栄一	富永 裕子	有内 麻里	福岡ムメコ	近藤 静恵
藤澤 直美	林谷 瑞穂	矢野 雄也(2)	奥谷麻里亜(2)	美馬 潤子
平岡英津子	高木 裕美	酒井 勇治	松山 豊	藤井 雅代(2)
釜内 正子	阿部 史	棚橋 美穂	野田 理人	

書道

[審査員]	薄田 玲泉	多田 清芳	西 南龍	
[運営委員]	長原 皋聖	新居 藍州	藤若 美風	
[美協副会長]	讚岐 泰泉			
[美協顧問]	荒井 天鶴			
[美協理事]	荒井 彦仙	上田 溪水	勝瀬 景流	
[無鑑査]	川村 春琴			
[放美賞]	井上 虹雨			
[優秀賞]	春川 登	藤永 真里	原 貞子	野田 満代 三石 智栄
	森 裕美子			
[第10回記念特贈]	川本 幸奈			
[入選]	田井 晴風	高田由里子	吉田 和子	洲崎 忠雄 多富 豊
	弘田 敏章	吉田 純	福井 明子	高橋加奈子 照島 佳洋
	今津 裕子	田中 孝子	山口寿満子	竹丸 陽子 若林 麗華
	脇坂 美輝	藤本 富子	中村 春岳	丸岡 春暁 猪井 茂美
	詫間 勝子	庄野 修一	藤本満里子	片山 保 三崎美佐子
	丸谷美代子	桑田 次雄	陶久 房枝	岡本美津子 西條 瑞子
	笠原 笑子	奥田 文子	宮本 曜美	中川恵美子 折野 茂幸
	久積富美子	大下 富江	村部 幸子	大野シゲ子 高橋 美村
	岩崎 麻美	上田 友紀	川人 和美	遠藤玻都恵 矢野 照代
	若林 節子	福永 培子	細岡 貴美	石井 益美 藤 治代
	多田 昌子	青木寿恵子	吉田佐知子	丸田 恵風 吉田志希子
	浜口 敏香	片山 芳明	井潟 稔子	松下 澄子 小野 幸久
	高木 房一	加藤かつ子	安東 善之	黒田 美穂 清崎 君子
	坪内佐智子	荒川 佳子	岩崎紀美子	野口 有香 谷本真由美
	西村 泰紀	阿部 里映	西村 美保	大塚 唯士 田中 久子
	原田チエ子	井上 彰夫	三宅 圧	安福 真未 三木 幸子
	折野 裕子	藤井 陽子	田渕小百合	部 絵莉奈 権田 明菜
	吉坂真理子	向井 絵美	向井美由希	龜屋 静 三宅 夏生
	川本 幸奈	木宮安希子	田渕 獣	横田 素林

デザイン

[審査員]	田中 一郎	福井 章	吉本 實				
[運営委員]	坂本三千一						
[無鑑査]	北島 豊嗣						
[放美賞]	井内 亜子						
[優秀賞]	須藤 政代	佐伯 奏美	川井 美穂	鹿山 美樹			
[第10回記念特賞]	福本 恭子						
[入選]	海部 美紀(2)	幸田 晴美	赤尾千代子	笠井さつき	長尾 哲宏		
	堀 恵理子	芦尾 節子	横田 実希	笠原 雅恵	大塚 尚紀		
	堀 真由美	福本 恭子	笹谷 祐子	仁義 弥生	柴田 咲		
	笠井 香織	大西真希子	大塚 寛子	角元 良衣	南 由美		
	藤本 紘美	横山 亜矢	武田 知子	武藏 光子	中野 安恵		
	宇山 大樹	米田 洋輔	尾形亜矢子	シマブクシンティア	十河 幸		
	切中由美子	根来 典子	原田 佑美	横関 寛子	森前久美子		
	村田 真祐						

各 部 記 錄

日本画部

部会長 西野和男

年間展望

◎第10回放美展（5月2日～6日 県郷土文化会館）

本年の応募数は54点で、入賞・入選数は35点であった。本県の二大美術展にふさわしく、内容的にもすぐれた作品が多く、展覧会としてのレベルの向上が伺えた。審査員として、長尾弘子、中川健、西野和男が担当した。

放美賞	「17歳、美形願望」	清瀬 寛子
優秀賞	「夕暮れの工場」	米沢 稔
”	「漁婦」	黒田 實
”	「和みの空間」	川口さやか

なお、10回記念ということで、各部門の入選以上の方の中で一番若い方に特別賞が贈られたが、日本画からは、吉田弥生「朝の声」が受賞した。

◎第56回県美術展（11月17日～25日 県郷土文化会館）

本年の日本画部の応募数は68点で、昨年の57点に比べると11点も増えている。喜ばしい限りであり、その影響からか作品も大作が多く質的にも向上しているように思えた。

審査員には、日展評議員の山崎隆夫先生にお願いし、慎重に進められた。審査の結果としての先生の総評は次のことであった。

現実重視の作品から心象的な夢のある作品まで幅広く、審査をしていて楽しかった。全体にしっかりした技術があり、隅々まで神経が行き届いた作品が多く、一定のレベルに達している。ただ、もう少し作者の思いが強調されれば、ずっと良くなるのに感じたもの多かった。その中で、入賞作は単に物の形を描くのではなく、自分なりに置き換えて表現し、作者自身の世界がうかがえた。

県美術家協会長賞の柳田一子「帰り道」は、どこでもある風景で、逆に画題としては難しいが、素直な表現で自分の思いを出しているところにひかれた。すがすがしい空気が感じられ、懐かしい記憶を呼び覚ます。ゆったりと描かれた菜の花と自転車がお互いを引き立て合い、自分の世界を表現することに成功している。特選の富田達子「根っ子」は、森の生き生きした、みずみずしさと力強さがあり、若さが感じられる。色彩の変化も面白い。自在に伸びる木の根に、感性の豊かさを感じさせる。形式にとらわれず自由奔放に描いていて、このまま続けていけば何か新しいものを生み出す可能性を持つ人と思う。絵を描くうえで、自分の持ち味を見つけるのは非常に難しいことだ。しかし、物

の形を通して自分を表現するという絵の基本を踏まえながら模索を続けてほしいと思う。

なお、今回展は21世紀の初めての展覧会ということで、各部門の奨励賞以上の方の中から一番若い方に新世紀賞が贈られることになり、日本画部は石原千鶴「僕の亩」が受賞した。

特 選(県美術家会長賞)	「帰り道」	柳田 一子
"	「根っ子」	富田 達子
準特選	「浮 草」	秋元よし子
"	「僕の亩」	石原 千鶴
"	「無・有・無(二)」	坂 容子
奨励賞	米沢 稔、江本美千代、反田 卓	

会員消息

今年も例年どおり、会員の方々がいろいろな展覧会で活躍された。次のとおり月別に紹介する。

1月 第34回珀雲社日本画展	阿波銀プラザ	森 萩苑・長谷 寿・斎藤谿春 濱口芳春・川原光恵・林 幸子 藤井瑞雲・西口光代・白河邦子 南 清子・坂本久江
2月 第36回日本墨彩画院展	香川県文化会館	森 萩苑・高田瑞雪・長谷 寿
" 第33回画展ふるさと	県郷土文化会館	森 萩苑・濱口芳春・南 清子 木内和美
3月 第9回田野町全国水墨画展	高知県田野町	森萩苑・市川義幸・木内和美
" 第41回日本南画院展	東京・京都・大阪 美術館(4月まで開催)	森 萩苑・長谷 寿・斎藤谿春 濱口芳春・藤井瑞雲
4月 第36回日春展	東京銀座 松屋	岡 英彦・土方るみ子
" 第89回徳島県女流美術家協会展	県郷土文化会館	長尾弘子他日本画部16名出品
" 第30回仙台・徳島文化交流展	県郷土文化会館	長尾弘子他日本画部16名出品
5月 第40回阿南市美術展	阿南市文化会館	森 萩苑・長谷 寿
6月 第37回徳島新聞賞文化賞		長尾弘子氏受賞
8月 中央展出品絵画展	県郷土文化会館	森 萩苑・長谷 寿・斎藤谿春

		濱口芳春・藤井瑞雲
8月	第30回絵で見る徳島展 県郷土文化会館	森 蔦苑・濱口芳春・南 清子 木内和美
9月	第1回阿南市美術協会日本画研究会 阿南市	長谷 寿・津田津保三
10月	第59回有秋会展 大阪市立美術館	森 蔦苑・長谷 寿・濱口芳春 藤井瑞雲
11月	平成13年度徳島県文化賞	長尾弘子氏受賞
"	2001年地域文化功労者（文部科学大臣表彰）	長尾弘子氏表彰
"	第30回阿南市文化祭展 阿南市文化会館	森 蔦苑・長谷 寿・津田津保三
"	第3回由岐町文化祭展 由岐町ポッポマリン	長谷 寿
"	第2回福井町文化祭展 福井町総合センター	長谷 寿
"	第7回海部郡合同絵画展 宮喰町民センター	西口光代・南 清子・白河邦子 坂本久江
"	日和佐町文化祭展 日和佐公民館	西口光代・南 清子・白河邦子 坂本久江
"	第33回日展 東京都美術館	岡 英彦・土方るみ子
12月	第30回徳島新聞社歳末チャリティー作品即売展 徳島そごう	長尾弘子・森 蔦苑・岡 英彦

洋 画 部

部会長 植田 務

年間展望

◎第56回県美術展（第2期11月17日～25日 県郷土文化会館）

今回展の出品総数は329点で、その中から入賞・入選124点が選出された。入選率は37.7パーセントと厳選になった。21世紀に入って初めての展覧会ということで、各部門で奨励賞以上の方の中から一番若い方に新世紀賞が贈られた。洋画部では漆川美希「考える自分とサボテン」が受賞した。

審査員には多摩美術大学教授の大津英敏先生をお願いした。先生の審査評を要約して次に紹介することとする。

全国レベルでみても、いい線を行っていると思う。率直で好感の持てる絵も多く、審査を楽しませてもらった。賞候補は高い技術レベルに達していて、絵に対する考えがストレートに表現されているものを選んだ。特選の三点は技術的に優れ、仕上げも丁寧、さらに現代性を兼ね備えている点で抜きんでたものがあった。

県知事賞の漆川美希「考える自分とサボテン」は、色彩や構成が素晴らしい、高い完成度が決め手となった。アイボリーとグレーを基調に、強い赤と緑の配色が素晴らしい。上部を10センチほど空け、絵を壁に張ってあるように見せるトリックなど工夫がみられる。特選の南城ミツ子「阿波踊り」は、筆の勢いにリズム感があり、絵と踊りとの一体感を感じさせる。徳島を代表する文化を自分のものにしている。特選の新居千尋「色模様Ⅱ」は、額に紙を張ってパステルで描いた作品。揺らぐ気持ちなど心のひだを丁寧に表現し、パステルという材質がソフトな感性とマッチしている。

なぜ自分は描くのか、何を描きたいのか、テーマを持続させることが必要だ。技術は手段。方向性を定めて描き続けられる人は伸びるだろう。若い世代にこのことを知ってほしい。

◎第10回放美展（5月2日～6日 県郷土文化会館）

洋画部門の応募者数は前回より若干増加したが、出品作品数はやや下回り168点となった。この中から入賞・入選は79点で例年のことながら大変きびしいものとなった。全体的には意欲的な作品が多く好感がもてたし、年々、技術面など作品の質が高くなっている。不運というか、選外となられた方は、これにめげず是非とも次回を期してほしいと思っている。

なお、10回記念として、入選以上の方の中から一番若い方に特別賞が贈られることになり、吉岡英樹「狩」が受賞した。

◎第16回洋画部会員展（5月24日～27日 県郷土文化会館）

前回を上回り、102点と力作揃いの見ごたえのある展覧会になったと思う。会員の研究・交流の場として、この展覧会がさらに充実したものになるよう会員のご協力を切にお願いしたい。

◎平成13年度洋画部絵画講習会（9月9日 鴨島町文化研修センター）

中断していた講習会が鴨島町教育委員会と鴨島町文化協会のご協力を得て、平成11年度に14年ぶりに再開され、今回で3回目の開催となった。本年度は受講者81人、関係者21人の計102人の大規模な絵画講習会となった。人物モデルによるクロッキー、水彩画、油彩画などそれぞれ熱心に取り組んだ。本会の佐野会長から制作についての実践的で楽しい講話と受講者一人一人について丁寧な作品評があり、盛会裡に終了した。

会員消息 (◎新会員 △住所変更 県展・放美展関係は除く)

- 青木 幸子 洋画部会員展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 浅山 久子 八紅展（阿波銀プラザ）
- 阿部 昌子 土曜展（郷文）、青美展（阿波銀プラザ）
- 伊勢 浩章 洋画部会員展、徳島平和美術展（郷文）、15人展・月曜会展・むつみ会水彩画展（ヨンデンプラザ徳島）
- 乾 繁春 第20回安田火災美術財団選抜奨励展出展：安田美術秀作賞受賞（東京安田火災東郷青児美術館）、第61回美術文化展（東京都立美術館）、第61回美術文化関西展（大阪市立美術館）、美術文化四国支部展、美術文化徳島グループ展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展、中央展出品者絵画展（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）、三浦美術館大賞展（愛媛ミウラートヴィレチ三浦美術館）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）、NHK文化センター高松絵画展特別出品（高松市民ギャラリー）、乾繁春洋画個展（高松・三越）
- 岩谷 明 洋画部会員展、ふるさとを描き遺す会展、徳島平和美術展（郷文）、つくし会展、15人展（ヨンデンプラザ徳島）、青美展（阿波銀プラザ）
- 宇高 桂子 第55回女流画家協会会展（東京都立美術館）、洋画部会員展、中央展出品者絵画展、第89回徳島県女流美術家協会会展（郷文）、アトリエUDAKA作品展（ヨンデンプラザ徳島）、まほろば展（阿波銀プラザ）
- 大西利津子 八紅展（阿波銀プラザ）
- 大野 文雄 青彩美術展（徳島市シビックセンター）
- 岡 多美子 新象展（東京都美術館）、武蔵野美術祭（東京都多摩）、ボジョレヌーボーラベルアート展（パリ及び東京国際フォーラム）、洋画部会員展、第89

- 回徳島県女流美術家協会展（郷文）、英展（阿波銀プラザ）
- 岡田 守 徳島市芸術祭美術展：特別出品、洋画部会員展（郷文）、全美展、世代美術展（徳島市シビックセンター）
- 賀木 道子 第67回旺玄展（東京都美術館）、第67回旺玄会大阪巡回展、第48回関西旺玄会展、第49回関西旺玄会展（大阪市立美術館）、洋画部会員展（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）
- 河本多恵子 徳島市芸術祭美術展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、国府文化祭（国府町コミュニティセンター）
- 岸本 花子 洋画部会員展、徳島市芸術祭美術展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 木谷 弘 第61回美術文化展（東京都美術館）、第61回美術文化関西展（大阪市立美術館）、美術文化四国支部徳島展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展、中央展出品者絵画展（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）、15人展、悠美展（ヨンデンプラザ徳島）
- 黒崎 志郎 第54回示現会展、第89回日本水彩展、第33回日展（東京都美術館）、示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展（郷文）、ヨーロッパ水彩スケッチ黒崎志郎展（喫茶グレース）
- 後藤ユリ子 現展：会友出品（東京都美術館）、洋画部会員展、中央展出品者絵画展（郷文）
- 後藤田仁一 第61回美術文化展（東京都立美術館）、第61回美術文化関西展（大阪市立美術館）、美術文化四国支部展、美術文化徳島グループ展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展、後藤田仁一自選展（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）、悠美展（ヨンデンプラザ徳島）
- 斎藤 靖子 日本板画院展：同人出品（東京都美術館）、洋画部会員展、徳島市芸術祭美術展：特別出品、第89回徳島県女流美術家協会展、絵で見る徳島展、中央展出品者絵画展（郷文）、悠美展（ヨンデンプラザ徳島）、ファミリー展2001（徳島市シビックセンター）、斎藤靖子歴史版画展（徳島城博物館）
- 嵯峨 潤三 洋画部会員展（郷文）、すどり洋画展（ギャラリーフレンテ）
- 相良 安彦 相良安彦個展（徳島そごう）
- 佐々木 超 徳島市芸術祭美術展：無鑑査出品、洋画部会員展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）、応神文化祭（応神コミュニティセンター）
- 佐野比呂志 第38回関西独立展：無鑑査出品（大阪市立美術館）、全展：委員出品（東京都立美術館）、全美展、世代美術展（徳島市シビックセンター）、徳島市芸術祭美術展：審査員出品、洋画部会員展（郷文）、徳島県教職員美術展：

招待出品（教育会館）

- 島田美奈子 八紅展（阿波銀プラザ）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 清水 垣憲 國際美術展「ONE」（アメリカ・ラスベガス・キャツシュマン・フィールドセンター）、フランス絵画彫刻国際展（南仏コートダジュール・ニース市美術展示場）、第30回油絵個展、第31回油絵個展（徳島そごう）、洋画部会員展（郷文）
- 下内 裕次 モダンアート協会展（東京都美術館）、モダンアート協会京都展（京都市美術館）、中央展出品者絵画展（郷文）、第52回モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）
- 杉本 澄子 第67回旺玄展：会友出品（東京都美術館）、洋画部会員展、中央展出品者絵画展、ふるさとを描き遺す会展、画展ふるさと展（郷文）旺美展中央出品者展（阿波銀プラザ）
- 鈴江美代子 第67回旺玄展（東京都立美術館）、ふるさとを描き遺す会展、画展ふるさと展（郷文）
- 曾我部秀子 徳島市芸術祭美術展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）
- 田岡 庄二 洋画部会員展（郷文）、中央公民館展（徳島市中央公民館）
- 田中 康子 八紅展（阿波銀プラザ）
- 谷 節子 第67回旺玄展：会友出品（東京都立美術館）、洋画部会員展、中央展出品者絵画展、ふるさとを描き遺す会展、画展ふるさと展（郷文）、旺美展中央出品者展（阿波銀プラザ）、21世紀に遺したい徳島企画展（徳島城博物館）
- 玉田 秀子 徳島新聞カルチャー講師新作展（怡美術館）、徳島市芸術祭美術展：無鑑査出品、洋画部会員展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、徳島新聞カルチャー洋画部展（徳島市シビックセンター）
- 為実 啓剛 洋画部会員展、健康福祉祭美術展、土曜展（郷文）、青美展（阿波銀プラザ）、健康福祉祭広島大会（広島県立美術館）
- 辻野 正廣 青彩美術展、油絵三人展（徳島市シビックセンター）
- 露口 敏幸 洋画部会員展（郷文）、百人一首の天井画制作（天佐自能和氣神社）、不動明王像の壁画制作（徳島市不動本町）
- 永井 郁枝 東光会展（東京都立美術館）、洋画部会員展、中央展出品者絵画展、東光会徳島支部展（郷文）
- 中村 晴代 全美展（徳島市シビックセンター）
- △長野 満子 第86回二科展（東京都立美術館）、洋画部会員展、ふるさとを描き遺す会展、画展ふるさと展（郷文）、ミツコ油彩画展（阿波銀プラザ）、21世紀に遺したい徳島企画展（徳島城博物館）

- 永山 隆二 徳島市芸術祭美術展：審査員出品、洋画部会員展（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 南城ミツ子 東光会展：会員出品、第33回日展：入選（東京都立美術館）、東光会展巡回展（大阪・岡山・鹿児島・広島・熊本）、徳島市芸術祭美術展：招待出品、洋画部会員展、東光会徳島支部展、中央展出品者絵画展（郷文）
- 仁木 幸子 洋画部会員展（郷文）、徳島新聞カルチャー講師新作展：受講生（恰美術館）、徳島新聞カルチャー洋画部展（徳島市シビックセンター）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 浜田 益子 八紅展（阿波銀プラザ）、徳島市芸術祭美術展（郷文）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 平尾マサミ 洋画部会員展（郷文）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）、文化の森レストラン「竹」常設展
- 平木 美鶴 個展（セントポールギャラリー、ギャラリーあじさい、美術館松櫻堂、ミニイギジビション）、メイドインジャパン（イギリス）、CWAJ版画展（東京アメリカンクラブ）、日本・中国国際版画展（京都市美術館、サンパーグ美術館）、日本版画協会展、二紀展（東京都美術館）、徳島二紀展（徳島県立近代美術館）、春の徳島二紀展（阿波銀プラザ）
- 福富 正二 洋画部会員展（郷文）
- 藤川 明子 徳島市芸術祭美術展（郷文）、全美展（徳島市シビックセンター）
- 藤崎 恭子 洋画部会員展（郷文）
- 樹田 務 東光会徳島支部展、洋画部会員展、四国大学教員展、四国大学学外展（郷文）、四国大学学内展（四国大学書道文化館）
- 三谷ミヤ子 徳島市芸術祭美術展：招待出品、洋画部会員展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、東富田文化祭（東富田コミュニティセンター）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 峯 幸子 現代美術家協会展（東京都美術館）、第89回徳島県女流美術家協会展、洋画部会員展（郷文）、む・アート展（阿波銀プラザ）
- 元廣 俊子 洋画部会員展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）
- 山口 和子 徳島市芸術祭美術展：特別出品、洋画部会員展（郷文）、青彩美術展、全美展（徳島市シビックセンター）
- △結城 栄子 国展（東京都美術館）、関西国展（京都市美術館）、個展（鳴島本郷ギャラリー）、洋画部会員展（郷文）
- 吉田収二郎 第67回旺玄展：会友出品（東京都立美術館）、中央展出品者絵画展、ふるさとを描き遺す会展、画展ふるさと展（郷文）、旺美展中央出品者展（阿波銀プラザ）

- 大西 文代 青彩美術展、油絵三人展（徳島市シビックセンター）
- 尾崎 素子 東光会展（東京都立美術館）、洋画部会員展、東光会徳島支部展（郷文）、鳴門市展、白鳳洋画グループ展、尾崎素子個展（鳴門市立図書館）
- 鈴木 明雄 土曜展（郷文）、青美展（阿波銀プラザ）、新春展（ヨンデンプラザ鳴門）、水彩画個展（ドクターエンドー鳴門）
- 田渕 浜子 東光会展（東京都立美術館）、洋画部会員展、東光会徳島支部展、中央展出品者絵画展（郷文）
- 林 信夫 洋画部会員展（郷文）、全美展（徳島市シビックセンター）
- 北 美智子 洋画部会員展、徳島市芸術祭美術展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）
- 佐藤 敬子 現展（東京都立美術館）、洋画部会員展、中央展出品者絵画展（郷文）、青美展、鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）
- 関 政明 洋画部会員展（郷文）、小松島市展春秋（小松島市中央公民館）
- 福本 武子 東光会展：会友出品（東京都立美術館）、洋画部会員展、東光会徳島支部展、中央展出品者絵画展（郷文）
- 福良 哲子 徳島市芸術祭美術展：無鑑査出品、洋画部会員展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）徳島新聞カルチャー講師新作展：受講生（恰美術館）、徳島新聞カルチャー洋画部展（徳島市シビックセンター）、加茂谷文化祭（加茂谷総合センター）
- 大津 憲文 洋画部会員展（郷文）
- 笹田 興一 第61回美術文化展（東京都美術展）、美術文化四国支部展、美術文化徳島グループ展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展、中央展出品者絵画展（郷文）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）
- 中辻奈美枝 春の徳島二紀展（阿波銀プラザ）、徳島二紀展（徳島県立近代美術館）、洋画部会員展（郷文）
- 住友 義彦 羽ノ浦町文化祭
- 米田 薫子 徳島新聞カルチャー講師作品展：受講生（恰美術館）、徳島新聞カルチャー洋画部展（徳島市シビックセンター）、八紅展（阿波銀プラザ）、那賀川町文化祭（那賀川町民センター）
- 天田 弘之 第51回モダンアート協会展（東京都立美術館）、モダンアート協会京都展（京都市美術館）、第21回関西モダンアート展（大阪府立現代美術センター）、第34回モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）、モダンアート明日への展望2001、俊英作家展（横浜市民ギャラリー）、第13回燎4人展、洋画部会員展、第33回石井美術の会作品展、中央展出品者絵画展（郷文）
- 武市善次郎 日本美術会会員展（京都市立美術館）、洋画部会員展、徳島平和美術展（郷文）、青美展（阿波銀プラザ）、15人展（ヨンデンプラザ徳島）

- 前野 亮治 三美展（花杏豆）
- 松川 寛 日仏作家展（フランス）、第34回モダンアート徳島支部展（阿波銀プラザ）、第13回燎4人展、洋画部会員展、第33回石井美術の会作品展（郷文）、アトリエM作品展（徳島県立近代美術館）
- 水間 利生 第61回美術文化展：会友出品（東京都立美術館）、第61回美術文化関西展（大阪市立美術館）美術文化選抜14人展（東京銀座長崎ビル）、美術文化四国支部展、美術文化徳島グループ展（阿波銀プラザ）、洋画部会員展（郷文）、世代美術展（徳島市シビックセンター）、水間利生小品展（徳島トヨタアトラツイン）、水間利生作品常設展示（徳島逓信病院）
- 宮本 幸江 東光会展：会員出品（東京都立美術館）、東光会徳島支部展、中央展出品者絵画展、第89回徳島県女流美術家協会展、第33回石井美術の会作品展、洋画部会員展（郷文）
- 毛利 谷子 東光会展：会員出品（東京都立美術館）、第89回徳島県女流美術家協会展、洋画部会員展、東光会徳島支部展、中央展出品者絵画展、第33回石井美術の会作品展（郷文）
- 大塚 政孜 洋画部会員展（郷文）、市場町文化協会展（市場町ふれあいセンター）、鴨島町・市場町・阿波町絵画交流展（各町）
- 唐渡 覚 市場町文化協会展（市場町ふれあいセンター）、鴨島町・市場町・阿波町絵画交流展（各町）、第67回旺玄会展（東京都美術館）、洋画部会員展（郷文）
- ◎吉田 実 鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）、鴨島町・市場町・阿波町絵画交流展（各町）
- 越久 高照 第16回国民文化祭：ぐんま2001（群馬県立近代美術館）、洋画部会員展、徳島市芸術祭美術展：招待出品（郷文）、青美展（阿波銀プラザ）、藍美展（藍住町福祉センター）
- 片山 富市 第67回旺玄展：会友推挙（東京都立美術館）、第49回関西旺玄展：会友出品（大阪市立美術館）、第5回旺美展中央出品者展（阿波銀プラザ）、第7回上板町美術愛好会作品展（上板町技の館）、第33回石井美術の会作品展、中央展出品者絵画展、洋画部会員展（郷文）
- 藤井 香世 徳島平和美術展（郷文）、月曜会展（ヨンデンプラザ徳島）
- 掘切 蔦子 青彩美術展、全美展（徳島市シビックセンター）、洋画部会員展（郷文）、藍美展（藍住町福祉センター）
- 三沢 尚子 関西水彩画展（大阪市立美術館）、関西水彩画会会員展（大阪府現代美術館）、第89回徳島県女流美術家協会展、洋画部会員展、第13回燎4人展（郷文）、ペアーレ水彩画展（阿波銀プラザ）

- 三好 初子 東光会展：会員出品（東京都立美術館）、第89回徳島県女流美術家協会展、洋画部会員展、東光会徳島支部展、中央出品者絵画展（郷文）、藍美展（藍住町福祉センター）
- 岡田 光男 鴨島美術グループ展、青美展、示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、徳島平和美術展（郷文）
- 岡田 和泰 洋画部会員展（郷文）、鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）、鴨島町・市場町・阿波町絵画交流展（各町）、岡田和泰個展（喫茶グレイス）
- 岡本 征二 洋画部会員展、土曜展（郷文）、鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）、鴨島町・市場町・阿波町絵画交流展（各町）、鴨島町総合美術展（鴨島町文化研修センター）
- 河田 安市 第77回白日会展：会員出品、第33回日展：会友・入選（東京都立美術館）、中央展出品者絵画展、洋画部会員展（郷文）
- 島上 二郎 東光会展（東京都美術館）、洋画部会員展（郷文）
- 下時治郎秀臣 第77回白日会展：会員出品・内閣総理大臣賞、第33回日展（東京都美術館）、白日会展巡回展（愛知・鹿児島・大阪）、白涛会展（近鉄阿倍野）、かけがえのない現象展（日本橋三越）、現代洋画秀作展（県青少年センター、大阪梅田画廊）、洋画部会員展（郷文）」
- 志摩 政照 鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）、鴨島町・市場町・阿波町絵画交流展（各町）、鴨島町総合美術展（鴨島町文化研修センター）
- 鈴木 敬子 洋画部会員展（郷文）
- 林 伸也 さかいでArtグランプリ2001（坂出市立美術館）、第14回上野の森美術館自然を描く展（上野の森美術館）、MBC花の絵展（鹿児島県歴史資料センター黎明館）12人の視展（阿波銀プラザ）、インヴォルグ展（県文化の森21世紀館）
- 真野 孝彦 鴨島美術グループ展、青美展（阿波銀プラザ）、鴨島町・市場町・阿波町絵画交流展（各町）、徳島二紀展（徳島県立近代美術館）、真野孝彦個展（徳島そごう）
- 村本恵美子 洋画部会員展（郷文）、試行展（阿波銀プラザ）
- 湯岑エミ子 鴨島美術グループ展（阿波銀プラザ）、鴨島町総合美術展（鴨島町文化研修センター）鴨島町・市場町・阿波町絵画交流展（各町）
- 小笠 正明 洋画部会員展（郷文）、三浦美術館大賞展（松山市三浦美術館）
- 喜多 直彦 洋画部会員展（郷文）、脇町文化祭美術展（脇町小学校）、試行展（阿波銀プラザ）
- 近藤 克子 洋画部会員展、ふるさとを描き遺す会展、東光会徳島支部展、第89回徳島県女流美術家協会展（郷文）、試行展（阿波銀プラザ）、脇町文化祭美術展

(脇町小学校)

- 島川 君子 東光会会展：会友出品（東京都立美術館）、洋画部会員展、東光会徳島支部展（郷文）、脇町文化祭美術展（脇町小学校）
- 関 京子 洋画部会員展（郷文）、八紅展（阿波銀プラザ）、脇町文化祭美術展（脇町小学校）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）
- 武田 洋子 徳島県教職員展：委嘱出品（教育会館）、三好郡教職員春風展（うだつの家）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品、東祖谷平家まつり協賛出品、三加茂まつり協賛出品
- 藤本 晴子 二科展（東京都立美術館）、洋画部会員展、中央展出品者絵画展（郷文）、試行展（阿波銀プラザ）
- 増井 厚子 洋画部会員展（郷文）、試行展（阿波銀プラザ）
- 真鍋 弘子 洋画部会員展（郷文）
- 三谷多美子 第77回白日会会展（東京都立美術館）、洋画部会員展、中央展出品者絵画展（郷文）、試行展（阿波銀プラザ）、貞光町文化祭（貞光町ゆうゆう館）
- 小笠原秋子 洋画部会員展（郷文）、三好郡教職員春風展（たばこ資料館）・分館展（王地小学校）土曜画会展：三好文化祭協賛出品
- 金岡 義和 現代童画会展：会友出品（東京都立美術館）、中央展出品者絵画展（郷文）
- 川原 榮子 洋画部会員展（郷文）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品
- 木下 和江 洋画部会員展（郷文）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品
- 田野 安子 洋画部会員展（郷文）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品
- 為実美恵子 洋画部会員展（郷文）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品、井川町なでしこ祭協賛出品
- 藤埜 理 創元会会展（東京都美術館）、創元会巡回展（高松市文化会館）、アコンズ展（高松市立美術館）、創美展（観音寺市）、洋画部会員展（郷文）
- 藤丸 家栄 洋画部会員展（郷文）、土曜画会展：三好文化祭協賛出品、井川町なでしこ祭協賛出品
- 山口美千代 洋画部会員展（郷文）、青美展（阿波銀プラザ）

会員の訃報

長井公雄氏（県美術家協会顧問、県展特別出品）は、戦後、県美術家協会並びに県展の創設に携われるなど、本県美術文化の向上に尽力されましたが、平成13年9月25日、84歳でご逝去なされました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

写 真 部

部会長 櫛 渕 魏

年間展望

◎第56回県美術展

写真部では、第55回展において大きな改革を行ったが、2年目に入った本年は、作品の受付、審査ともに順調に終了することができた。審査員には昨年に引き続き、写真家の大石芳野先生にお願いした。応募総数904点、出品者数253人で、その中から特選4、準特選8、奨励賞8、入選132点が選ばれた。本年は21世紀初めということで、奨励賞以上の中でも最も若い方に新世紀賞が贈られた。審査終了後、奨励賞以上の各作品について、大石先生より懇切な選評があり、総評としては「昨年に続く審査だが、一段とレベルが上がっており、構図、色調もきっちり仕上がっている。全般にカラー作品が多いが、白黒ならもっと良かったのに感じたものも多く、カラーか白黒かよく考えて撮ることが大切だと思う。」との助言もいただいた。

特 選	「村祭り」	堀口 幸男（特別賞）
"	「誕生」	三木 理司
"	「星の夜」	久保 英樹
"	「旅役者の子」	安部 幸子
準特選	川村泰史・野藤敏美・野藤みきよ・柳本 正・梅本貞範 木下 昇・林 邦光・大西啓子	
新世紀賞	三木理司	

会期は11月8日から15日まで、県郷土文化会館4階で第1期として開催された。開展前日の11月7日には徳島プリンスホテルで、受賞者の表彰式があり、式後、受賞者、来賓、役員、関係者によるオープニングパーティーが華やかに催された。

◎第10回放美展

放美展も本年で第10回を迎える。5月2日から6日まで県郷土文化会館で開催された。5月2日には記念開展式が会場の3階エレベーター前で行われ、5月6日にはサンシャイン徳島アネックスで表彰式と懇親パーティーが盛大に開催された。今回展の応募点数は489点、出品者197人で、この中から入賞・入選202点が選出された。また、本年は入選以上の方の中から最少年齢者に第10回記念特別賞が贈られた。審査員は櫛渕魏、酒井博司、荒井賢治がつとめた。

放美賞	国見良幸
優秀賞	久保英樹・柳川信子・久我千鶴・浜田茄代子・石川徹雄

野口道子・西野倫子・辻 絹子・渡辺 幸・森内昭男
栗田ふさえ・武林恭史・根ヶ山治・田中伸廣・梅本貞範
一宮由子・岡村 清・川真田慶治・岸田和久・村岡洋一
(以上20人)

記念賞 播口徳充

◎平成13年度徳島県秀作巡回美術展（第5回県民文化祭協賛事業）

10月12日から11月18日まで県下4ヶ所を巡回して美術展が開催された。写真部からは荒井賢治、上野照文、古井謙吉、後藤能大の四氏が出品した。

◎県美協 写真部撮影会

恒例の写真部撮影会は6月24日に行った。撮影地を京都嵯峨野散策ときめて、会員を募集したところ、大変な好評で、大型観光バスで補助椅子まで使用しての51人参加となった。午前7時30分徳島駅を出発、11時奥嵯峨野鳥居本に到着、下車後に天龍寺あたりまで各自が自由に撮影し、午後3時駐車場を出発、予定どおり午後7時に徳島駅着で無事撮影会を終了した。今回も三木晴夫、井上憲治、林敏彦、井藤光章、古井謙吉、上野照文の各委員に一切の世話役をお願いした。

各分野での会員の活動状況 ~中央展・個展・団体展など~

◎木田英之氏が県出版文化賞受賞

平成12年末に上梓された「黒白のメッセージ木田英之写真集」に2月22日徳島県出版文化賞が授与された。昭和30年代から40年代にかけて、県下全域にわたって人々の生活を撮った作品を収めた写真集で貴重な資料価値をよんでいる。

◎藤井 梵氏が写真集「現世流転」を出版（4月20日）

「俱会一処」「芬陀利華」に次ぐ第三作目の写真集で、移ろいゆく命の一瞬と、輝き、切なさ、いとおしさを見事に写し撮った感動的な写真集と高い評価を得た。6月17日には、地元鴨島町セントラルホテルで「出版を祝う会」が県内外の写真仲間や文化関係者220人が集い盛大な祝賀会が催された。

◎JPS（日本写真家協会）展（5月21日～30日 東京都美術館）

会員出品：荒井 賢治

◎第35回日本光画会写真展「光展」（1月5日～7日 徳島市シビックセンター）

会員出品：酒井 博司・安長 剛

会友出品：井上 翔・川真田慶治・久保 英樹・小林 保子・佐藤 義雄

清水 定七・毛利 次郎

公募入賞：大阪府教育委員会賞 富加見美枝

徳島新聞社賞 吉村 敏嗣

公募入選：内田 澄子・内田 忠秋・妹尾 早苗

◎第49回二科会写真部展（9月1日～16日 東京都美術館）

会友出品：荒井 賢治

公募入賞（メーカー賞）：大和 健司

入選：赤木 昭子・島 廣幸・板東 敏晴・梅本 貞範・岡村 清

◎第48回阿波踊り写真コンクール（10月21日～28日 阿波おどり会館）

特選：横山 勤一

準特選：阿部 啓三・森内 昭男・野藤みきよ

入选：粟田ふさえ・岡村 清・佐野 辰夫・根ヶ山美江・大津 勝治
小原 治・岩崎 英昭・池添 秀信・大野 武・潮 満寿子
川真田慶治・後藤 正巳・富加見美枝・田中 伸廣・中村 茂人
姫田 慎治・柳本 正

◎第86回「研展」（10月5日～14日 東京都美術館）

会員出品：酒井 博司

公募入選：上杉 太一・佐藤 義雄・船越 正文・清水 定七・吉村 敏嗣

◎第8回朝日四国写真展（11月4日 高知市サンピア高知にて公開審査）

アサヒカメラ賞：森住 博

徳島県知事賞：井上 憲治

徳島本部長賞：森 賢一

特選：久我 千鶴

奨励賞：西條 征二・溝渕 寛治

入选：井藤 光章・潮 満寿子・佐藤 義雄・田中喜久夫・姫田 慎治
野藤 敏美・野藤みきよ・川真田慶治

以下、団体展では、その会に所属し、出品した会員の氏名を記すこととする。

◎第9回コンタックスクラップ徳島支部展（1月19日～21日 ヨンデンプラザ徳島）

支部長：森住 博

出品者：赤木 昭子・荒井 賢治・内田 忠秋・内田 澄子・梅本 貞範
大津 勝治・国見 良幸・西條 征二・佐々木敏幸・田中 伸廣
土橋 成行・根ヶ山 治・根ヶ山美江・播 博文・板東 敏晴
藤田 卓嗣・藤本 宗子・前坂 祥文・正見 晃章・宮本 幸治
向 儀一郎・森 賢一・森内 昭男・森住 博・大和 健司

◎第16回全日本写真連盟県本部写真展（2月2日～4日 徳島市シビックセンター）

県委員長：井藤 光章

出品者：阿部 一雄・阿部 啓三・荒井 賢治・井藤 光章・井上 憲治
井上 光雄・上野 照文・潮 満寿子・内田 忠秋・内田 澄子

梅本 貞範・岡村 清・川真田慶治・久我 千鶴・櫛渕 魏
西條 征二・酒井 博司・佐治 孝・佐藤 考利・佐藤 義雄
佐野 辰夫・清水 定七・清水 宗保・田中喜久夫・土橋 成行
根ヶ山 治・根ヶ山美江・野藤 敏美・野藤みきよ・橋本 圭祐
林 敏彦・平賀俊次郎・姫田 慎治・古井 謙吉・三木 晴夫
三木 理司・溝渕 寛治・森 賢一・森住 博・安長 剛
柳川 信子・大和 健司

◎第30回徳島県教職員美術展（2月2日～4日 県郷土文化会館）

審査員出品：武内 亨

招待出品：荒井 賢治・井上 光雄・勝西 雅夫・櫛渕 魏・後藤 能大
西條 征二・酒井 博司・藤井 梵

委嘱出品：佐藤 義雄

◎三好和義写真展「阿波の楽園・海部川」（2月9日～11日 ヨンデンプラザ徳島）

◎第32回ナルトびんぽけクラブ写真展（2月10日～12日 鳴門市山高ギャラリー）

会長：川上たかと

出品者：川上たかと・木田 英之・板東 敏晴

◎第2回ニッコールクラブ徳島県支部写真展（4月13日～15日 徳島市シビックセンター）

支部長：櫛渕 魏

出品者：阿部 啓三・井藤 光章・内田 忠秋・内田 澄子・大野 武
大野 泰子・川真田慶治・櫛渕 魏・西條 征二・酒井 博司
佐治 孝・佐藤 義雄・清水 定七・清水 宗保・田中喜久夫
中川 定典・野藤 敏美・野藤みきよ・藤田 卓嗣・古井 謙吉
三木 晴夫・三木 理司・溝渕 清之・森 賢一

◎サンカ会写真作品展（4月14日～16日 徳島市シビックセンター）

内田 忠秋・田中 伸廣・森内 昭男

◎上杉太一写真展「小豆島風物語」（4月27日～29日 ヨンデンプラザ徳島）

◎第7回徳島ライカクラブ写真展（5月8日～10日 ヨンデンプラザ徳島）

会長：武内 亨

出品者：武内 亨・藤井 梵・後藤 能大

◎第19回写真集団「風」作品展（5月11日～13日 徳島市シビックセンター）

会長：安長 剛

出品者：小林 保子・妹尾 早苗・堀口 幸男・安長 剛

◎第24回写真同人「炎」作品展（6月1日～3日 徳島市シビックセンター）

代表：西條 征二

出品者：阿部 一雄・荒井 賢治・井藤 光章・井上 憲治・川真田慶治

櫛渕 魏・久保 英樹・後藤 和美・西條 征二・佐治 孝
佐藤 考利・武林 恭史・田村 泰弘・伊達 照子・土橋 成行
中川 定典・林 敏彦・古井 謙吉・森 賢一・安長 剛
大和 健司・吉崎 伝

◎第6回写一会写真展（8月3日～5日 ヨンデンプラザ徳島）

潮 満寿子・後藤 正巳・浜田佳津子・宮崎 行弘・横山 勤一
安部 幸子

◎第15回徳島花を写す会写真展（8月24日～26日 徳島市シビックセンター）

会 長：酒井 博司
出 品 者：川真田慶治・久保 英樹・酒井 博司・佐藤 義雄・清水 定七
森 賢一・吉村 敏嗣

◎全日写連「阿波おどり作品コンクール」（9月2日審査）

特 選：武林 恭史
準 特 選：粟田ふさえ・清水 宗保・野藤みきよ・根ヶ山美江
入 選：阿部 啓三・田中喜久夫・野藤 敏美・根ヶ山 治・佐藤 考利
溝渕 寛治・上杉 太一

◎第5回写友「吉野川」倶楽部写真展（9月8日～10日 徳島市シビックセンター）

岩崎 英昭・小原 治

◎第41回写楽会写真展（9月28日～30日 徳島市シビックセンター）

会 長：櫛渕 魏
出 品 者：粟田ふさえ・上野 照文・櫛渕 紳哉・櫛渕 魏・中川 定典
古井 謙吉

◎銳光会写真展（10月19日～22日 徳島市シビックセンター）

会 長：林 治郎
出 品 者：近藤 誠造・西條 征二・林 治郎・三木 晴夫・井上 光雄

◎第3回二科会写真部徳島支部作品展（12月1日～3日 徳島市シビックセンター）

荒井 賢治・赤木 昭子・安部 幸子・潮 満寿子・梅本 貞範
岡村 清・国見 良幸・後藤 正巳・西條 征二・島 廣幸
土橋 成行・板東 敏晴・板東 進・藤井 梵・増田 寿
宮崎 行弘・宮本 幸治・森住 博・大和 健司・横山 勤一
吉田 弘

彫 刻 部

部会長 松 永 勉

年間展望

◎第56回県美術展（平成13年11月17日～25日）

今年の審査は行動美術協会会員の石黒鏘二先生にお願いした。出品総数は32点で受賞作を含め20点が入選した。総数では前回より2点増えてはいるが、ここ数年大きな変化はない。しかし、作品の大型化や素材の多様化は年々進み、作家個々のレベルの向上ぶりが見られた。また、ガラス分野からの出品が数点あったのも刺激となった。

審査評としては「実験的傾向の作品が多く、意外な発見があった。素材のバラエティーと高い技術力に感心した。新しいものにチャレンジする姿勢がすがすがしく、将来性を感じた」と述べられた。さらに「高校生の作品も目についた。技術は稚拙でも魅力のある作品づくりを続けてほしい」と言られた。今回の審査にあたっては、具象、抽象に限らず純粋に彫刻性の高いものを評価されたとお聞きした。また、個々の出品者に対しては、分かりやすく、丁寧に説明されていたのが印象的であった。

特選（県教育長賞）に選ばれた中川伸一氏の“石器時代～イブ”は黒花崗岩を割りはだ仕上げで加工した作品である。評では「重量感があって、装置的な面白さにたけていて、石の素材をよく理解している」と賛辞をいただいたが、今後その技術に満足することなく、さらなる飛躍を期待したいことも付け加えられた。中川氏は中央展でも高い評価を得ており、石の造形に対する自身の境地に益々の自信を持たれることと思う。準特選の上月佳代氏の作品“グレーの思考”は「空間構成が強く外に広がりがあり、腰掛けた自然なポーズが新鮮で実験的である」と評された。同じ準特選の玉田悦子氏の具象作品“哀しみのなかから”は「ベテランらしい基本のできた作品で人体の姿勢がしっかりして全体に魅力を感じる」と評された。二人とも着実に力をつけてきているので今後の活躍に期待したい。

なお、21世紀初めての展覧会になるので、奨励賞以上の中から一番若い方に新世紀賞が贈られることになり、武田亜希子氏の“源”が受賞した。

◎第10回放美展（平成13年5月2日～6日）

今年の応募総数は24点で、昨年とほぼ同数であった。その中から受賞を含めて18点が入選した。全体的には、いろいろな素材が扱われ、彫刻の幅広い傾向がみられる内容のある展示になった。

放美賞を受賞した東光司氏の作品“風景”（石彫）は階段状に切り取った石の量感や、

空間構成に変化があり効果的である。また、石の表面処理の美しさも印象的であった。優秀賞には、加藤彰一氏の“憂”が選ばれた。しっかりした量感のある作品で、具象作品の中では秀作であった。その他では二宮治夫氏の大作の木の作品“戯”、橋本敬子氏の“宇宙空間”などが目立った。第10回記念として「特別賞」が贈られることになり、入選以上の中から一番若い方ということで田川莉沙氏が受賞した。

なお、今回の放美展の審査には、濱口恵、長岡強、鎌田邦宏の三人の審査員が当たった。

会員消息 (県展・放美展関係は除く)

居上 真人	9月 第86回二科展へ会友出品	東京都立美術館
	9月 居上真人石彫展を開催	ギャラリーフォレスト(徳島市)
	10月 第39回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園
井下 俊作	9月 第56回行動展へ会員出品	東京都立美術館
	10月 第39回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園
	10月 第56回行動展：大阪巡回展へ出品	大阪市立美術館
	11月 四国大学創立75周年記念モニュメント「卒啄」を設置	四国大学構内
大津 文昭	10月 第39回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園
河崎 良行	1月 河崎良行彫刻作品集刊行	
	3月 徳島春季二紀展へ出品	阿波銀プラザ
	3月 退官記念：河崎良行彫刻展を開催	県立近代美術館ギャラリー
	4月 第15回裸婦デッサン展へ出品	徳島市シビックセンター
	8月 第16回徳島二紀展へ出品	県立近代美術館
	10月 第55回記念二紀展へ会員出品	東京都立美術館
	10月 県秀作巡回美術展へ出品	県下4会場
鎌田 邦宏	3月 徳島春季二紀展へ出品	阿波銀プラザ
	8月 第16回徳島二紀展へ出品	県立近代美術館
	10月 第55回記念二紀展へ出品(会員推挙)	東京都立美術館
	10月 県秀作巡回美術展へ出品	県下4会場
佐藤 隆	10月 第39回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園
	10月 佐藤隆彫刻展を開催(第1回彫刻集団主催)	県立近代美術館
中川 伸一	9月 第56回行動展へ出品(会員推挙)	東京都立美術館
	10月 第39回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園
濱口 恵	4月 第51回モダンアート展へ出品	東京都美術館
	6月 第6回オアシス2001展へ出品	OBPツイン21特設大ホール(大阪)

		6月	ブルゴーニュ21世紀ラベル展へ出品 ルイ・マックス賞を受賞、ブルゴーニュ芸術ワイン大使認定	フランス（コートドール県）
		10月	第39回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園
		12月	モダンアート関西展へ出品	大阪府立現代美術センター
林 一美		4月	木彫展へ出品	ヨンデンプラザ徳島
		5月	鉄道OB会美術展へ出品	県郷土文化会館
東 光司		1月	第34回モダンアート徳島支部展へ出品	阿波銀プラザ
		5月	第7回ストーンミュージアム石の彫刻展へ出品	香川県庵治町
松永 勉		2月	鳴門市北灘町ロマンチック海道彫刻公園に 「風景のスケール」を設置	鳴門市北灘町
		8月	国立呉病院に「風景のリズム・光・風・波」を設置	広島県呉市
		9月	第56回行動展へ会員出品	東京都立美術館
		10月	第39回徳島彫刻集団野外彫刻展へ出品	徳島市中央公園
		10月	県秀作巡回美術展へ出品	県下4会場
		10月	第56回行動展：大阪巡回展へ出品	大阪市立美術館
蒔田 寿		3月	徳島春季二紀展へ出品	阿波銀プラザ
		8月	第16回徳島二紀展へ出品	県立近代美術館
		10月	県秀作巡回美術展へ出品	県下4会場
		10月	第55回記念二紀展へ出品（同人優賞）	東京都立美術館
		11月	第55回記念二紀・名古屋展へ出品	愛知県立美術館
		11月	第55回記念二紀・京都展へ出品	京都市立美術館
		12月	第55回記念二紀・大阪展へ出品	大阪市立美術館
長岡 強		1月	第34回文化庁現代美術選抜展へ選抜出品	岩手県久慈市文化会館
		3月	第77回白日展へ会員出品	東京都立美術館
		4月	第31回日彫展へ会員出品	東京都立美術館
		9月	創立20周年記念 鳴門教育大学教官作品展へ出品	鳴門教育大学芸術棟ギャラリー
		11月	第33回日展へ会友出品	東京都立美術館

美術工芸部

部会長 山上 醒

年間展望

◎第56回県美術展（11月17日～25日 県郷土文化会館）

21世紀初頭を飾る平成13年（2001年）県美術展美術工芸部門の応募点数は140点、応募者は108名で、前回を上回る盛況であった。今回は色彩の多様化が目立ち、作品の質・大きさの向上と共に華やいだ雰囲気の中での審査となった。賞候補作品16点の中から入賞8点（特選2点、準特選3点、奨励賞3点）が選ばれ、人選76点と無審査出品12点を加えた総展示数は96点となった。なお、21世紀はじめての県展ということで、各部門で奨励賞以上の方の中から一番若い方に「新世紀賞」が贈られた。

今回の審査員は京都の国際陶芸アカデミー会員・京都市立芸術大学教授 栗木達介先生にお願いした。総評として「若い新人の登場を期待して審査に臨んだ。自分の表現世界を出そうとする意欲は買えるが、表現技術との釣り合いが取れるところまで行っていないというハンディがある。賞候補には、技術が一定の水準にあり、表現の世界が個性的な作品を選んだ。特選・徳島市長賞の田村祐子「追想」（陶芸）は形と装飾の釣り合いが取れている。形だけでまとまりのあるものに装飾を配するのはとても難しいが、金と銀の使い方がうまく、相乗効果で一層表現が豊かになっている。～中略～水準の高さは傑出していた。特選の綾野昌子「花葬」（染織）は、確かな技術が備わっている上に構図が大胆。色づかいも非常に明快だ。緑、赤という対比の強い色を取り入れた点に、鮮やかな色彩感覚が見て取れる。若い人らしく、新しい独自の表現が素晴らしい、出品点数の最も多かったのは陶芸で、技術は高いが、表現という点では他の分野に勝っているとは思えなかった。もう一度表現のための技術をつかみ直さないといけない。四年前に審査した時に比べ、全体的にレベルが上がっていたが、経験のある人と趣味の人に相当な差があった。専門の勉強をしていない人は、まずいい作品を徹底的にコピーするくらいの気持ちで基礎技術を水準まで上げてほしい。その上で自分の個性的な表現を展開すればいいと思う。」と製作についての取り組み方など貴重な示唆をいただいた。

本年のジャンル別出品点数は、陶（76点）、ガラス（17点）、パッチワーク（16点）、染（12点）、織（6点）、金工（5点）、木工品（3点）、布絵（2点）、漆（1点）、人形（1点）、その他（2点）であった。竹、皮革以外の殆どのジャンルでの出品があったことは、誠によろこばしいことである。出品点数の上からは、陶芸が例年通り過半数を占めていたが、本年はガラスの進出が目立った。ジャンルの消長は時代の流れによって起こるものであろうが、竹工、皮革工芸以外の殆どのジャンルが出揃ったことは、県美術

工芸の理想的な展開といえるのではないだろうか。そして、それぞれのジャンルで美術工芸の本質を極め競い合う県展にしたいものである。

特 選（徳島市長賞）	田村 祐子（陶）「追想」
” （新世紀賞）	綾野 昌子（染）「花葬」
準特選	井後 善郎（金工）「鳥」
”	岡崎 益子（漆）「無」
”	藤井 哲信（ガラス）「レース紋帯祭器」
奨励賞	丸居 哲雄（杢）「闇の中で踊る」
”	楠 博子（パ・チワーカ）「Labyrinth～迷路」
”	四十宮年代（染）「遙かなる樹景」

◎第10回放美展（5月2日～6日 県郷土文化会館）

第10回を迎えた放美展美術工芸部門の応募点数は122点、応募者は86名で前回をやや下回った。全体的に大きく重厚な感じが増して質の向上が見られた。特に陶器の作品が多く全体の6割を占めていた。

審査は賞候補13点の中から放美賞（1点）、優秀賞（5点）、第10回記念特別賞（1点）が選ばれ、入選は84点となった。展示は無審査作品7点を加えて総数98点、重厚さが増し格調の高いものとなった。放美賞の斎藤和彦さん「山想」は彫金・七宝の作品で、赤と黒の不透明な七宝による山の表現と背景の緑青を黒で抑えた彫金の打ち出しが幻想的な雰囲気をかもし出していた。優秀賞の四十宮年代さん「波の詩」はローケツ染の訪問着で連なりのある波の動きを緑を基調とした高尚な色合いで表現していた。加藤伴江さん「川の流れのように」は独創性のあるガラス作品で、自由な形の中に流動感を表現していた。寒川治雄さんの陶器「鉄釉線文花器」は単純化したフォルムで、広口の楕円と緑の文様の調和が見事であった。隅田良佑さんの陶器「飛躍」は斬新で、斜方向の形の中に安定性を求めた造形性の高い作品であった。田村祐子さんの陶器「彩」は、手びねりの膨らみがある温かい感じの現代的な作品で、黒の中の近代的な模様の配置に独創性があった。（審査員：松下慶一、橘恵、七条猪三郎）

なお、第10回を記念して、各部門の入選以上の方の中から最少年齢の方に贈られた第10回記念特別賞には、美浪文さんの染色「季節の舟」が選ばれた。若さにあふれた色彩感覚と構成のよさに将来が期待される。

放美賞	斎藤 和彦（金工）「山想」
優秀賞	四十宮年代（染）「波の詩（ローケツ染）」
”	加藤 伴江（ガラス）「川の流れのように…」
”	寒川 治雄（陶）「鉄釉線文花器」
”	隅田 良佑（陶）「飛躍」

優秀賞 田村 祐子（陶）「彩」
新規会員賞 美浪 文（染）「季節の舟」

会員消息 (県展・放美展関係を除く)

天野 和子	・JQA一人一点キルト展 ・第9回夢のきざはし展 ・ペーパーウエイト展 ・ニューホライゾンズキルト展2001 ・第6回アトリエバクグループ展 ・KOB E2001キルトウィーク ・第29回県手工芸展 ・第19回もめんの詩パッチワークキルト展 ・四国の40人キルター展 ・第13回デザインドリーム展	1月 牟岐町海の文化ホール 2月 ヨンデンプラザ徳島 6月 眉峰ギャラリー 6月 姫路市立美術館 6月 阿波銀プラザ 9月 神戸国際博覧会展示場 10月 県郷土文化会館 10月 県郷土文化会館 10月 松山・三越 10月 徳島市木工会館
犬伏 純	・第56回新匠工芸展(会友賞)	11月 京都市美術館
多智花佐代子	・第40回日本現代工芸美術展 ・第40回現代工芸四国会展	3月 東京都立美術館 12月 高松・三越
九十九健二	・第72回第一美術展(工芸部会員優秀賞)	5月 東京都立美術館
富田ちえ子	・第20回日本伝統文化の祭典参加 ・染色すなご会染色展	2月 フランス・ベルサイユ 10月 香川牟礼町民族資料館
新居 猛	・日本の安楽椅子列伝(掲載) ・自分仕様の椅子を探す(掲載) ・B S-i 「アットカルチャー」椅子(放映)	1月 家庭画報(雑誌) 7月 サライ(雑誌) 10月 TBS
平井 恵子	・第40回日本現代工芸美術展 ・大津市展 ・現代工芸美術協会40周年記念展 ・滋賀県工芸美術協会展 ・滋賀県展	3月 東京都立美術館 7月 大津市歴史博物館 8月 京都大丸ミュージアム 10月 滋賀県立近代美術館 12月 滋賀県立近代美術館
森 賢一	・第40回日本現代工芸美術展 ・第33回日展	3月 東京都立美術館 11月 東京都立美術館
山本 和子	・第40回日本現代工芸美術展 ・アトリエすくも15周年記念展 ・第2回創展 ・第40回現代工芸四国会展	3月 東京都立美術館 6月 徳島市シビックセンター 11月 阿波銀プラザ 12月 高松・三越

四十宮年代	◦ 2001年きもの絵師と陶芸の仲間達 ◦ 第29回徳島市芸術祭美術展 ◦ 第24回日本染織作家展 ◦ 第36回中部染色作家展 ◦ 第16回国民文化祭ぐんま2001年美術展 ◦ 第44回日本工芸会四国支部展	1月 池田市ギャラリーVEGA 3月 県郷土文化会館 4月 京都市美術館 6月 愛知芸術文化センター 11月 群馬県 11月 高松・三越
森 明治	◦ 陶三人展	7月 大阪梅田・茶屋町画廊
矢野 欽一	◦ 日本工芸会正会員展 ◦ 第44回日本工芸会四国支部展 ◦ 陶の会焱堺展 ◦ 徳島陶芸作家協会展	6月 日本橋・三越 11月 高松・三越 11月 大阪・堺市民会館 11月 脇町アンミツ館
影谷美代子	◦ 徳島平和美術展 ◦ 小松島市芸術祭染色展	7月 県郷土文化会館 11月 小松島市中央会館
斎藤 和彦	◦ 日本七宝作家協会展（佳作）	7月 東京・上野の森美術館
宮本 孝	◦ 徳島平和美術展	7月 県郷土文化会館
武田 美子	◦ 第13回和展	12月 大阪市立美術館
橋 恵	◦ 橋恵：阿波藍型染30年展 ◦ 阿波藍型染展	3月 ヨンデンプラザ徳島 8月 ギャラリーカフェ無垢里
松下 雄介	◦ 第2回羽卯会展 ◦ 第48回日本伝統工芸展 ◦ 松下雄介作陶展	3月 京都・工芸ギャラリー咲 9月 日本橋・三越 9月 ギャラリーM&M
丸居 哲雄	◦ エナージ2001 ◦ 上板町美術愛好家作品展 ◦ 上板町文化祭	10月 県立近代美術館・21世紀館 11月 上板町 技の館 11月 上板町 技の館
田村 祐子	◦ 第89回徳島県女流美術家協会展 ◦ 徳島の陶芸展2001 ◦ 第11回工芸美術日工会展 ◦ 第3回工人会展	4月 県郷土文化会館 4月 県郷土文化会館 5月 日本橋・高島屋 5月 ギャラリーM&M
堺 都美子	◦ 徳島平和美術展 ◦ 藍住町美術展	7月 県郷土文化会館 11月 藍住町福祉センター

書道部

部会長 上田 溪水

年間展望

今年の役員改選で永年美協書道部の発展に尽力された、新居藍州先生が部会長を辞任された。永年のご功績に心から敬意を表したいと存じます。その後を上田が引き継ぎ部会長を努めることとなりましたので、どうぞよろしくお願ひいたします。

◎第56回県美術展（第1期 11月8日～15日 県郷土文化会館）

出品点数864点、出品者数603名、入選・入賞計346点（入選率40%）となり、出品点数は前年比50%増であるが、出品者数は72名減となった。これは1点出品者が194名減に対して2点出品者が122名増となったもので、出品者数の過減は今後の課題であろう。展示総数は特別出品・招待・無鑑査・賛助出品を加えた394点となり、会期中全作品を同時に展示した。

今回展は21世紀初めての県展ということで、奨励賞以上の方の中から、一番若い方に「新世纪賞」が各部門に贈られることになり、春山留理さんが受賞した。

◎第10回放美展（5月2日～6日 県郷土文化会館）

出品点数134点（前回比18点減）出品者数130名（前年比3名減）となり、入賞・入選は101点で入選率は75.3%であった。展示総数は役員・無鑑査を加えて113点となった。毎年多少の増減はあるが出品数は定着したようである。第10回展ということで、入選者の内で一番若い方に「特別賞」が贈られ川本幸奈さんが受賞した。

◎県立文学書道美術館が、いよいよ本年秋に開館する予定で、現在多彩な開館プレイベン トが実施されている。

◎亡くなられた田中双鶴、久保幽香両氏の追悼展が開催された外、社中展や個展も盛況で あった。

◎社中展・個展等（県内開催分）

・第10回東南光書作展	県郷土文化会館	2月10日～	12日
・第7回澄光会書作展	県郷土文化会館	3月9日～	11日
・第14回長玄書道会展	県郷土文化会館	3月23日～	25日
・武市鳴雲書作展	鴨島・本郷ギャラリー	3月30日～4月1日	
・第21回書研社展「双鶴先生追悼展」	県郷土文化会館	4月13日～	15日
・第16回正峰会書展	徳島市シビックセンター	4月28日～	30日
・久保幽香遺作展	県郷土文化会館	5月10日～	14日

・現代書展「きらめきの季」	阿波銀プラザ	5月11日～	13日
・第8回大耿会書作展	県郷土文化会館	5月24日～	27日
・第19回双愛書作展	徳島市シビックセンター	6月15日～	17日
・第6回墨友会展	ヨンデンプラザ池田	8月10日～	12日
・上田渓水書作展	徳島市シビックセンター	8月31日～9月3日	
・第24回泉心書作展	県郷土文化会館	9月6日～	9日
・第30回徳島雪心会書作展	県郷土文化会館	9月7日～	9日
・第31回直心会書展	県郷土文化会館	9月7日～	9日
・第36回清潮書道会書作展	県郷土文化会館	9月14日～	16日
・第10回砂光篆会作品展	徳島市シビックセンター	10月6日～	8日
・第64回書芸院展	県郷土文化会館	10月25日～	28日
・第13回睦月会書展	徳島市シビックセンター	11月21日～	23日
・第6回尚真書展	阿波銀プラザ	12月7日～	9日
・第5回せせらぎ書展	徳島市シビックセンター	12月8日～	10日
・第31回光輪社書作展	県郷土文化会館	12月21日～	23日

個人消息 (平成13年1月～12月)

1. 中央展・県外展に審査員・役員として活躍し、作品を発表した人々

- ・第42回太玄会書展(東京都美術館 1／11～17)

春藤大耿・田村昇鶴・中谷史子・近藤静苑・中尾勝子・竹田和代

- ・第23回青潮書道全国展(マイドーム大阪 1／16～20)

西 南龍

- ・第29回日本の書展(2／7～12)

勝瀬景流・玉城乾香

- ・第55回日本書芸院2月展(大阪市立美術館 2／14～18)

常務理事 勝瀬景流

二科審査員 福家美鵠・古川秀蔵・清水桂月・豊浦春光・長江頌石・能仁華瑤

八木藍玉・吉田素川・小松美佳・島田小園・高田青蓮・鳩成青嶂

藤村柳葉・矢部知子・米澤東籬・宇山泰鳳・長谷美峰・薄田玲泉

上田輝芳・河野真流・森 光翔・美馬幾美賀

- ・東京書作展選抜作家展2001(東京都美術館 2／20～26)

春藤大耿・近藤静苑・中尾勝子・中野春江・山本恵子・中西甫子・西谷香峰

- ・第37回創玄展(東京都美術館 3／7～12)

荒井天鶴・荒井彭仙・永松春苑・佐原和清・高岡晃祥・坂本霄風・玉城乾香

- 浜 佳香・多田清芳・佐藤宗香・丸岡香貞・長原皋聖・芝原醒鶴
- 第20回日本刻字展（東京都美術館 3／7～12）
横田素林
- 日本書芸院新世紀書法展（中国上海博物館 3／26～4／1）
勝瀬景流
- 第55回日本書芸院展 4月展（大阪市立美術館 4／10～15）
常務理事 勝瀬景流
一般審査員 東 南光・上田渓水・隅田英二・山口華城
- 第37回太玄会役員書展（東京新宿朝日生命ギャラリー 5／31～6／5）
春藤大耿・田村昇鶴・中谷史子・近藤静苑・中尾勝子・竹田和代・大樹一峰
富久鳴泉・岸田いち子・古郷弘江
- 現代の俳句と書の世界展（東京セントラル美術館 6／5～10）
荒井天鶴
- 第53回毎日展（東京都美術館 7／13～17）（四国展 8／28～9／2）
荒井天鶴・荒井彭仙・長原皋聖・芝原醒鶴・玉城乾香・永松春苑・佐原和清
浜 佳香・多田清芳・佐藤宗香・横田素林
- 第18回産経書展（東京池袋サンシャイン 7／21～29）
讃岐泰泉・藤若美風・松本清香・増田愛子・三浦富美代
- 日本の女流展（東京銀座画廊美術館 7／31～8／5）
張 美鶴
- 第18回読売書法展（東京都美術館 8／13～19 四国展 9／12～16）
常任理事 勝瀬景流
理事 伊丹東龍・西岡五峰
幹事 東 南光・上田渓水・近藤聖邨・清水桂月・春藤大耿・隅田英二
高田青蓮・長江頌石・新居藍州・能仁華瑠・福家美鵬・古川秀蕙
山口華城・宇山泰鳳・東 弥生・板東準子・上田輝芳・河野真流
倉本景雨・竹内虹舟・宮守崇流・亀石文苑・長谷美峰
- 第23回東京書作展（東京サンシャインシティー文化会館 11／27～12／2）
春藤大耿・近藤静苑・中尾勝子
- 第33回日展（東京都美術展 11／2～24）
依囁 勝瀬景流

2. 中央展・県外展に入賞した人々（社中展を除く）

- 第42回太玄会書展（東京都美術館 1／11～17）
(太 玄 賞) 富久鳴泉

- (特別賞) 南 溪石
- (奨励賞) 鈴木恵理・岸田いち子・古郷弘江
- (推薦) 田上洋香・弘田長風・加藤香都子
- (準推薦) 春藤玉秀・稻垣幸風・木村弘子・中山智子・福島由佳
- (特選) 稲井華風・片山芳明
- (準特選) 米木由美子
- ・第23回青潮書道全国展(大阪市立美術館 1/16~20)
- (奨励賞) 笠原芳翠
- (日本教育書道研究会賞) 村部幸苑
- (特選) 桑田溪水・折野幸峰・奥田文園・中川恵風・四宮恭玉
- ・第55回日本書芸院2月展(大阪市立美術館 2/14~18)
- (大賞) 吉田素川・薄田玲泉
- (一科推薦賞) 植村恭子・蔭尾操生・久積希美子・古川智野・山崎秀美
- (二科推薦賞) 工藤孝子・山本愛美・湯浅美香
- ・第37回創玄展(東京都美術館 3/7~12)(産業プラザPIO 3/3~12)
- (秀逸賞) 岩本志豪・桑村俊清・長野恵裕・大西清葩・野田香洋
平岡幽琴・丸田恵風・長原皐月・大井皐霄
- (二科賞) 川西文子・岡崎啓香・坂本香穎・豊田直美・青木寿恵子
里村典子・福田皐久・木内皐蓉・米延亨・山口幸子
橋本君代・糸田川純子
- (準二科賞) 遠藤禎子・川人宏子・早川美智子・山本華蓉・吉積恵子
野田満代・三澤多美子・森浦皐芭・今川皐蝶・木内エッ子
野口晴代・大野英子・渋谷清子
- ・第20回日本刻字展(東京都美術館 3/7~12)
- (理事長賞) 大住典石
- (特選) 鈴木幸子
- (秀作賞) 横田喜苑
- (佳作賞) 福壽海陽・貝塚剣山・田中昭峰・田渕南亭・高柳早秀
- ・第23回日本書道学院展(東京都立産業センター 3/24~26)
- (準大賞) 井上虹雨・湊景桃
- ・第55回日本書芸院4月展(大阪市立美術館 4/10~15)
- (特別賞) 小西玉翠・高井春華・藤村柳葉・矢部知子・米澤東籬
佐川薔流・宮守崇流
- (特選) 谷 弘美・吉田京湖・横田茜子・椎野春翠・谷口清水

内田麻紀・加村喜美子

- 第53回毎日書道展（東京都美術館 7／13～17）（四国展 8／28～9／2）
（秀 作 賞） 坂本脣風・藤本瑠香・阪口光暉・野口香洋・長原皐月
- 第18回産経書展（東京池袋サンシャイン会館 7／21～29）
（準 大 賞） 渡 紀子
（会 友 賞） 叶井清子・小西敬子・鈴江美音子・中田須美子・町田哲子
（特 選） 村田 透
（秀 作） 井内淑恵・松村 一
- 第48回読売書法展（東京都美術館 8／13～19）（四国展 9／12～16）
（読売新聞社賞） 薄田玲泉
（特 選） 森 光翔・山本景琴
（秀 逸） 馬居汀香・小西玉翠・豊浦春光・八木藍玉・米澤東籬
内田麻紀・加村喜美子・井上虹雨・佐川薺流・益田光舟
渡 景桃
- 第23回東京書作展（東京サンシャインシティ文化会館 11／27～12／2）
（特別賞候補） 原田尚鳳
（優 秀 賞） 笠井海紅・鈴木恵理・妹尾敏子・中村絢子
（奨 励 賞） 木村弘子・高橋武子・松永裕子・福田雪江
- 第33回日展（東京都美術館 11／2～24）
（入 選） 伊丹東龍・河野真流・西岡五峰

デザイン部

部会長 坂本三千一

年間展望

今年も、慶弔規定を内部規定として文書化する等、部会運営についての見直しに取り組んできた。出品者から意見も聞いて見て、県展・放美展の出品規定もグラフィックデザインであることを強調した。県美協の7部門の中で会員が少ないので、部会にとって会員増強は運営上も必要であったので、55回県展入選者から勧誘を積極的に進めてきた。努力の成果は5年ぶりに、笠井さつき（阿南市）芦尾節子（藍住町）長尾哲宏（板野町）の若い3名を迎えることができた。

◎第10回放美展（5月2日～6日 県郷土文化会館）

応募点数は昨年より22点多い100点で、その中から放美賞1、優秀賞4、入選37点が選ばれ、入選率は42%であった。今回は入選者の中から一番若い人に「第10回記念特別賞」が贈られた。

放美賞の井内亜子さん「Dog」は、シンプルで明るい色彩と、生命のパワーを感じさせる力強い作品。優秀賞の川井美穂さん「メリーナイト」は、落ち着いた色遣いの中にフェミニンな夢が顕在する。須藤政代さん「ポスター」は、造形的に安定している。佐伯奏美さん「ワタシノマテリアル」は、描き込みの努力と楽しさがいい。鹿山美樹さん「無題」は、単純な色彩の中にユーモアがありリズミカルに展開している。記念特別賞に福本恭子さん「すべての人にジュビリーを」が選ばれた。（審査評から抜粋）

部会からは今年会員になった笠井、長尾、芦尾が入選している。また、審査員として福井章「イラストレーション山頭火」、田中一郎「ポスター」、吉本實「Message」の3名と無鑑査の北島豊嗣「カオスⅡ」、運営委員の坂本三千一の「ECO poster」が出品された。

◎平成13年度徳島県地方文化振興事業：第5回県民文化祭協賛事業：県秀作巡回美術展

（主催／徳島県県民環境部文化国際課）

今年は、県内4か所で10月12日から11月18日まで開催された。部会からは斎藤繁次「遠い部屋・遠い声」、坂野美恵子「未来都市—京都」、福井章「AWAODORI GURAFFITI」、北島豊嗣「カオス」の4名が出品した。会場は日和佐コミュニティホール、貞光勤労福祉センター、羽ノ浦町国民総合体育館、由岐町ぽっぽマリンを巡回した。

◎第56回徳島県美術展（第2期 11月17日～25日 県郷土文化会館）

今回は、審査員として多摩美術大学教授の秋山孝先生をお迎えした。応募点数は138

点（116人）で、前回展より28点増えた。その中から特選（特別賞）1、特選1、準特選3、奨励賞3、入選39点が選ばれ、入選率は31.4%であった。今回展には「新世紀賞」として入賞者の中から一番若い方に贈られた。秋山先生の「審査評」の中で、作品を制作する上で重要なアドバイスを示唆していただいているので次に記しておくこととする。

課題は、深刻なメッセージを暗い表現で訴えた作品が多かったこと。逆にカラッとした明るさで伝えられれば、見る側も作品の世界に入りやすい。審査は、メッセージ性と美的要素がいかに融合しているか、制作意図が明確でそれをうまく表現できているかをポイントに選んだ。特選・特別賞（四国放送社長賞）の敷島のり子「MASSAGE・2001」は、色のコラージュのような油絵をパソコン処理して、独特の感触を出しているのが面白い。構成も立体的で緻密。中央の丸く描いた世界は、地球のようにも、涙を流す人の顔にも見え、平和を訴える作者の強いメッセージが伝わってきた。（審査評の抜粋）

その他の受賞者は次の通りであった。

特 選	「Save the ozone」	浅野比呂志
準特選	「love」	斎藤志津子
"	「メッセージ」	福島 康仁
"	「LORCO」	大山 奈里
奨励賞	「ニューランドスケイプ～川のイメージ」	斎藤 剛
"	「SURFACE」	尾形 淳
" (新世紀賞)	「メディカルグッズホスピタル」	平尾 奈菜

部会からは、敷島のり子、斎藤志津子のほか、北島豊嗣、四十宮隆志、芦尾節子が入選。特別出品として坂本三千一、招待として浅野昌哉、斎藤繁次、坂野美恵子、賛助出品として福井章が出品した。

《訃報》新聞報道等でご存じのこととおもいますが、田中一光先生が平成14年1月10日午後11時53分、冠状心不全のため亡くなられました。71歳でした。先生はデザイン部が商業美術部門として県展に加わって5年目の第30回と38回展に審査員として2回来徳し、徳島との拘わりもあった。来られなくなつて随分時間は経つが、阿波踊りには毎年、京都芸大連と一緒に踊り込んでいた。会員のみなさんも、それぞれの想い出を持っていることと思います。私も関係していた、文化の森のシンボルマーク審査に来徳されたことなど、懐かしい想い出になってしまった。

もう一度、県展を通してご指導をお願いしたかった。これまで私の知る範囲では、33回展の大高猛さん、36回展の山城隆一さん、40回展の亀倉雄策さんが亡くなられました。昨年は41回展の伊藤憲治さんも亡くなられました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

会員消息 (放美展・県展関係は除く。順不同)

■桑原 美枝

5月 ファミリー展2001「海」へ出品

徳島市シビックセンター

■坂野美恵子

8月 第86回二科展デザイン部門へ会友出品

9月 二科会デザイン会員推挙

■敷島のり子

4月 「国際ポスター展inはな・はるフェスタ2001」

ポスターギャラリー実行委員会会長

武蔵野美術大学ポスターギャラリー実行委員会共催 新町川ボードウォーク

7月 世代美術展へ出品

徳島市シビックセンター

■四十宮隆志

2月 「新宇宙戦艦ヤマト」誕生記念トークイベント
作家交流&webサイトリポート取材

大阪サンケイホール

6月 「アメリカンショートショーツフィルムフェスティバル2001」
webサイトリポート取材

東京フォーレミュージアム原宿

8月 「JYUTAISM～第一子“凪”(nagi)～」
舞台演出家交流&webサイトリポート取材

東京大田区民ホール・アプロコ

9月 「第6回アニメーション神戸
(The 6 th. ANIMATION KOBE)」

作家交流&webサイトリポート取材

神戸国際会議場、ポートピアホテル

10月 「第13回徳島デザインドリーム」

フォトグラフィックス作品10点&webサイト紹介

徳島市立木工會館

11月 「美少女戦士セーラームーン」

10周年記念イベント

webサイトリポート取材

大阪会場（御堂会館）

■斎藤志津子

8月 華と十字架展へ出品

ドクターエンドー鳴門

11月 藍住町美術展へ出品

藍住町福祉センター

■田中 一郎

5月 ペーパーウェイト展へ出品

眉峰ギャラリー

11月 第16回徳島ジュニアコーラス定期演奏会

チラシ、チケット、パンフレット

表紙デザイン担当

12月 第22回ヴォーカルグループ Soleコンサート
ポスター、チラシ、チケット、パンフレット
表紙デザイン担当

■吉本 實

3月 第29回徳島市芸術祭美術展へ特別出品
8月 JAGDA阿波踊りポスター展へ出品
10月 第13回徳島デザインドリーム展へ出品

郷土文化会館
新町川ボードウォーク
徳島市立木工会館

■澤口 功

3月 第29回徳島市芸術祭美術展へ審査員出品
12月 第30回歳末チャリティー作品色紙即売展へ出品

郷土文化会館
徳島そごう

■斎藤 繁次

2月 サイトウシゲジおめん展へ出品
8月 華と十字架展へ出品
10月 第13回徳島デザインドリーム展へ出品
11月 藍住町美術展へ出品
11月 サイトウシゲジイラスト展へ出品

ドクターエンドー徳島
ドクターエンドー鳴門
徳島市立木工会館
藍住町福祉センター
徳島市アトラツイン

■福井 章

4月～ 徳島新聞広告企画「徳島イラスト探訪」
毎月1回制作
10月 徳島県秀作巡回美術展へ出品
12月 徳島新聞社新年広告企画
「水と橋のある風景」スケッチ43点制作
12月 第30回歳末チャリティー作品色紙即売展へ出品

県下4会場巡回
徳島そごう

■坂本三千一

1月 日本野鳥の会徳島支部会報
毎月表紙イラスト制作
(日本野鳥の会徳島支部の依頼)
3月 木南征山尺八リサイタルのリーフレット等デザイン
7月 機関紙 板野郡だよりNo.8 (7／1号)
「技の達人」で制作風景、作品紹介
(JA板野の依頼)
8月 郷文開館30周年記念「韓国伝統舞踊公演」
ポスター、プログラムのデザイン
(金鳳先韓国伝統舞踊研究所の依頼)

- 8月 第16回全国健康福祉祭徳島大会実行委員会
　　総務企画委員会委員に就任
　　(徳島県から委嘱)
- 10月 アサヒビール「徳島ほろにが会」文集イラスト制作
　　(アサヒビール徳島支店の依頼)
- 11月 月間全国誌「野鳥」2001年11月号
　　表紙(カワウ)制作
　　(日本野鳥の会編集局《東京》の依頼)
- 11月 ねんりんピック徳島「大会テーマ」選考
　　(徳島県長寿社会課ねんりんピック推進室の依頼)
- 12月 第30回歳末チャリティー作品色紙即売展へ出品　　徳島そごう
- 12月 徳島経済5団体「新年祝賀会・会員名簿」
　　表紙デザイン(徳島経済同友会の依頼)

平成13年度 第5回徳島県民文化祭

第56回徳島県美術展（県展）公募規定

部門 区分	日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン
搬入日	10月21日	10月20日	10月14日	10月21日	10月21日	10月13日	10月21日
搬入先	徳島県郷土文化会館						
審査日	10月21日	10月21日	10月14日	10月21日	10月21日	10月14日	10月21日
審査員	山崎 隆夫	大津 英敏	大石 芳野	石黒 錦二	栗木 達介	宮赤金 崎江子	葵卓 光城義
出品料	協会員 1点目 3,000円	その他の方 4,000円		2点目からはすべて 1,500円			
出品制限・大きさ・仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> 未公開作品に限る 点数は制限なし 小・中学校在学者は出品できない 20号以上額縁・糊くめタテ、ヨコ1.9m以内、額・枠張り（ガラス・アクリル不可） 吊り紐 	<ul style="list-style-type: none"> 組・単写真とも画面サイズ、半切以上（カラーは印画に限る） 20号以上（水彩は20号以上、版画は10号以上とする） 額 吊り紐 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 同左 同左 同左 	<ul style="list-style-type: none"> 高さ2m×幅1.5m×奥行1.5m重量200kg以内 材料は自由、展示可能なものに限る 	<ul style="list-style-type: none"> 大きさ制限なし（ただし、平面作品はタテ1.8m×ヨコ1.5m以内） 木・竹・金工・陶磁・漆・染色・織物・人形・ガラス等 展示できる用具をつける 	<ul style="list-style-type: none"> 半切又は全紙横1/2以上、仕上がり面積が1.47m²（16平方尺）以内、縦・横自由（例）巻子本・帖（40×300cm以内）61cm（2尺）×242cm（8尺）枠張79cm（2.6尺）×181cm（6尺）枠張91cm（3尺）×161cm（5.3尺）枠張121cm（4尺）×121cm（4尺）枠張半切・全紙1/2・聯落まで額装アクリル入りでもよい 部門は漢字・仮名・近代詩文・前衛とする 	<ul style="list-style-type: none"> B1パネル 横728×縦1,030ミリ 厚さ5～75ミリ程度 重さ5kg以内 課題は自由（実在の商品名・会社名等は除く） 法的規制に触れないこと 吊り紐
入賞	特別賞 特選 準特選 奨励賞 入選 規定数	特別賞 特選 準特選 奨励賞 入選 規定数	特別賞 特選 準特選 奨励賞 入選 規定数	特別賞 特選 準特選 奨励賞 入選 規定数	特別賞 特選 準特選 奨励賞 入選 規定数	特別賞 特選 準特選 奨励賞 入選 規定数	特別賞 特選 準特選 奨励賞 入選 規定数
その他	<ul style="list-style-type: none"> 落選作品は審査終了後、各部門で決められた日時までに搬出すること。 展示作品は一期は11月15日（木）、二期は11月25日（日）の午後5時から午後6時までに搬出すること。 所定の期日までに搬出しない場合は主催者において処分する。 						

第 56 回 県 美 術 展

特別・招待・無鑑査・贊助出品者名

☆ 日 本 画

(特別出品)	荻野行夫	橋本正弘	中川健
(招待)	長尾弘子	土方るみ子	中西野和男
	岡英彦		
	土井洋子		
(贊助出品)	森薫苑	高田瑞雪	長谷壽

☆ 洋 画

(特別出品)	佐野比呂志	永山隆二	
(招待)	清水亟懊	楠瀬等	立岩弘
	露口敏幸	岡本征二	長尾久雄
(贊助出品)	浅田二郎	岡多美子	柏木雅仁
	河田安市	黒崎志郎	後藤田一
	桝田務	松川寛	岡田守
	中辻奈美枝		

☆ 写 真

(招待)	増田清次	井上光雄	西條征
	勝西雅夫	藤井梵	武内亨
	笛田敏雄	櫛渕魏	酒井博
	三好和義	上野照文	森賢司
	橋本圭祐	安長剛	前浦一久
	荒井賢治	林敏彦	多田芳美
	古井謙吉	中野建吉	井藤晴光
(無鑑査)	増田壽		

☆ 彫 刻

(特別出品)	河崎良行		
(招待)	佐藤隆	大津文昭	濱口永
	井下俊作	鎌田邦宏	恵勉
(無鑑査)	蒔田寿		
(贊助出品)	長岡強		

☆ 美術工芸

(特別出品) 山上馨
 (招待) 新居猛 高橋勇
 多智花佐代子 松下雄 介
 森 賢一 橘惠 犬
 (贊助出品) 村上正典 中川存

道書

☆ デザイン

(特別出品) 坂本三千一 (招待) 浅野昌哉 斎藤繁次 坂野美恵子
(賛助出品) 福井章

あ　と　が　き

二十世紀から二十一世紀へと移るということで、二十世紀最後の第55回県美術展においては、ミレニアム賞を設け、特選・準特選・奨励賞受賞者の中で最高齢の方を讃え、さらに二十一世紀当初の第56回県美術展では各部門の特選・準特選・奨励賞受賞者の中で、一番若い方に新世紀賞を贈り、徳島県美術展の更なる発展充実を図りました。

放美展においても第10回ということで、第10回記念特別賞を各部門の一番若い方に贈り讃えました。このことが、本県の二大美術展にさらなる活気をもたらせればと思っています。

年報には、従来のように各部会長さんからは、各部の年間展望をいただきました。各部会長さんのところで会員の皆さんからいろいろと情報をいただきいておられると思いますが、是非とも掲載したら良いと思われる事項がありましたならば、各部会長さんのところまで、お届けいただければと考えています。

このたびの表紙は書道部の上田渓水さんにいただきました。

会員の皆さんのが健康で創作活動に励まれますことを祈念いたしております。
これからも会員の皆さんのが協会に対してのご支援を心からお願ひいたします。

平成14年3月

県美術家協会事務局

美　術　年　報　2002年

平成14年3月29日 印刷

平成14年3月30日 発行

編集者 清 水 博

装幀者 上 田 渓 水

発行人 佐 野 比 呂 志

印刷所 原田印刷出版株式会社

発行所 徳島県美術家協会

(徳島市名東町1丁目246 清水方)

周の事とあらまうづくは
せぬ事も

氣の流す

の事とあらまうづくは
せぬ事も

氣の流す

の事とあらまうづくは
せぬ事も